

令和2年度

京都大学 一般入試

学生募集要項

—京都大学の基本理念—

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、基本理念が定められ、教育の基本理念として以下のとおり定めています。

- 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
- 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

—京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）—

【学士課程】

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切に研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがって、入学者を選抜します。一般入試では、教科・科目等を定めて、大学入試センター試験と個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。

未来の京大生へ

創立122年を迎えた京都大学は日本を代表する総合大学として、10学部に加え、充実した大学院や全国一の多様性を誇る研究所群を擁しています。そして「対話を根幹とした自学自習」を重視し、創造の精神を育む学問の都として世界最高水準の大学教育を行っています。これまで累計で21万1千余名の卒業生を世に送り出し、多くの卒業生が学術分野のみならず、産業界、官界、国際組織など様々な分野で活躍しています。

京都大学で学ぶ。このことはみなさんの人生においてなにものにもかえがたい貴重な経験となるはずです。みなさんは行政・政治・経済の中心から一定の距離をおく京都に暮らし、学生生活を謳歌することになります。世界都市・京都の内懐に抱かれ、千年以上続いた日本の文化や伝統を肌で感じつつ、それに安住することなく、果敢に革新する進取の精神を文化や学芸、科学技術、さらには学生を大切に京都の地で学ぶことになるのです。これまでの知識偏重の学びを卒業し、古典から現代先端技術にいたるまでの幅広い知識を身につけ、大局的にもものを見、自由に発想できるようになるためには、旺盛な知識欲を満足させる優れた教育環境と学んだことを我が物とする沈潜の時代が必要です。我々京都大学の教職員はみなさんにかげがえのない時間を過ごせる静謐な学問の場を提供します。

京都大学においては、総合大学の強みを生かし、各学部、大学院、研究所、センターにおいて人文学、社会科学、自然科学の各分野で様々な独創的な研究が日々なされています。そこでみられる本学の研究の多様性とユニークさは群を抜いています。京都大学においては1年生からの少人数ゼミ「ILASセミナー」を通じ、これらの独創的な研究を行っている研究者から最先端の研究の手ほどきを受けることができます。また、京都大学は、世界中の大学と国際交流協定を数多く結んでいる大学です。その利点を活かして、在学中に留学しやすい環境づくりをすすめています。カリキュラムにおいては、外国人研究者による集中講義や特別講義の更なる活用、外国の大学とのリアルタイムの双方向遠隔講義をさらに充実させていきます。

将来世界を舞台にして、地球社会の調和ある共存に貢献したいという高い志を持つみなさん。自由で知的刺激にあふれた大学、京都大学はみなさんを待っています。

大学は、社会や世界に通じる窓です。京都大学でぜひ多くの仲間を作り、教職員といっしょにその窓を開けて羽ばたいてください。



京都大学総長 山極 壽一

目 次

※法学部を除く特色入試については別途公表している「特色入試学生募集要項」をご覧ください。

1. 前期日程（一般入試）	
Ⅰ 入学定員・募集方法等.....	3
Ⅱ 出願資格.....	5
Ⅲ 入学者選抜方法等.....	6
Ⅳ 出願手続.....	28
Ⅴ 入試情報開示.....	32
Ⅵ 障害等のある受験者に対する合理的配慮について.....	33
Ⅶ 受験に関する注意事項等.....	34
Ⅷ 合格者発表.....	36
Ⅸ 入学手続.....	36
Ⅹ 追加合格.....	38
Ⅺ 個人情報の取り扱いについて.....	38
Ⅻ 学部・学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）.....	39
2. 法学部後期日程（特色入試）	
Ⅰ 入学定員・募集方法等.....	49
Ⅱ 出願資格.....	51
Ⅲ 入学者選抜方法等.....	52
Ⅳ 出願手続.....	56
Ⅴ 入試情報開示.....	60
Ⅵ 障害等のある受験者に対する合理的配慮について.....	61
Ⅶ 受験に関する注意事項等.....	62
Ⅷ 合格者発表.....	64
Ⅸ 入学手続.....	64
Ⅹ 追加合格.....	66
Ⅺ 個人情報の取り扱いについて.....	66
3. 一般項目	
Ⅰ 京都大学の教養・共通教育について.....	69
Ⅱ 過去3年間の入学試験結果の概要.....	70
Ⅲ 修学案内.....	73
◎ 京都大学構内図.....	80
◎ 問い合わせ先.....	81

1. 前期日程（一般入試）

I 入学定員・募集方法等

1. 入学定員・募集人員

特色入試（法学部を除く）において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

募集人員 学部・学科		入学定員	募集区分		
			前期日程	後期日程	その他の選抜方法
総合人間学部		120	文系 62 理系 53		特色入試：5人
文学部		220	210		特色入試：10人
教育学部		60	文系 44		特色入試：6人
			理系 10		
法学部		330	310 <small>（外国学校出身者のための選考10人以内含む）</small>	20 <small>（後期日程の募集は特色入試として行う）</small>	外国学校出身者のための選考：10人以内
経済学部		240	文系 190 <small>（外国学校出身者のための選考10人以内含む）</small>		特色入試：25人 外国学校出身者のための選考：10人以内
			理系 25		
理学部		311	306		特色入試：5人
医学部	医学科※3	105	100		特色入試：5人
	人間健康科学科	100	70		【先端看護科学コース】 特色入試：20人 【先端リハビリテーション科学コース （理学療法学講座）】 特色入試：5人 【先端リハビリテーション科学コース （作業療法学講座）】 特色入試：5人
	計	205	170		
薬学部※1	薬科学科・薬学科	80	74		【薬科学科】 特色入試：3人 【薬学科】 特色入試：3人
工学部※2	地球工学科	955	928 <small>（別表2のとおり）</small>		【地球工学科】 特色入試：3人 国際コースのための選考：30人以内 【建築学科】 特色入試：2人 【物理工学科】 特色入試：5人 【電気電子工学科】 特色入試：7人 【情報学科】 特色入試：3人 【工業化学科】 特色入試：7人
	建築工学科				
	物理工学科				
	電気電子工学科				
	情報学科				
工業化学科					
農学部※2	資源生物科学科	300	281 <small>（別表3のとおり）</small>		【資源生物科学科】 特色入試：3人 【応用生命科学科】 特色入試：4人 【地域環境工学科】 特色入試：3人 【食料・環境経済学科】 特色入試：3人 【森林科学科】 特色入試：3人 【食品生物科学科】 特色入試：3人
	応用生命科学科				
	地域環境工学科				
	食料・環境経済学科				
	森林科学科				
食品生物科学科					
合計		2,821	2,663	20	

※1 薬学部の学科振り分けは、本人の志望や学業成績等に基づいて、別表1のとおり4年次進級時に行われます。

学部・学科等		学科振り分け定員
薬学部	薬科学科	65 <small>（特色入試入学者3名を含む）</small>
	薬学科	15 <small>（特色入試入学者3名を含む）</small>

※3 医学部医学科の入学定員は、平成31年度まで臨時的に増員（105名から107名）が認められていました。引き続き、2名の増員を認可申請中であり、認可された場合は、改めて本学ウェブサイト等で募集人員について周知します。

※2 工学部と農学部は、別表2と別表3のとおり、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。

学部・学科等		受入学生数（目安）
工学部	地球工学科	182 <small>（国際コースのための選考30人以内含む）</small>
	建築学科	78
	物理工学科	230
	電気電子工学科	123
	情報学科	87
	工業化学科	228

工学部は学科を第2志望まで選択することができます。

学部・学科等		受入学生数（目安）
農学部	資源生物科学科	91
	応用生命科学科	43
	地域環境工学科	34
	食料・環境経済学科	29
	森林科学科	54
	食品生物科学科	30

農学部は学科を第6志望まで選択することができます。

2. 試験実施方式・日程

- (1) 本学は、分離分割方式による前期・後期日程（特色入試）で試験を実施します。
- (2) 志願者は、分離分割方式の「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。
- (3) 前期日程で大学・学部合格し、令和2年3月15日までに入学手続きを行った者は、後期日程の試験を受験しても合格者となりません。
- (4) 本学も含め全ての国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）の推薦入試又はAO入試合格者は、当該推薦入試又はAO入試を実施する大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学個別学力検査等を受験しても合格者となりません。
※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学については、公立大学協会 Web サイトを参照のこと。（<http://www.kodaikyo.org/>）
- (5) 入学許可後、出願書類の記載事項が事実に相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。
- (6) 主な日程

インターネット出願登録・入学検定料納入期間	令和2年1月20日（月）～2月5日（水）
出願書類受理期間	令和2年1月27日（月）～2月5日（水）
第1段階選抜合格者発表日	2月12日（水）送付予定
試験実施日	2月25日（火）・26日（水）・27日（木） ※27日は医学部医学科の面接のみ実施
合格発表	3月10日（火）正午
入学手続き	3月14日（土）午後5時 必着

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

3. 募集方法及び合格者の決定方法等

- (1) 総合人間学部、教育学部、経済学部は、「文系」試験及び「理系」試験に分けて募集し、合格者を決定します。
- (2) 法学部は、「前期日程」及び「後期日程（特色入試）」に分けて募集し、合格者を決定します。
- (3) 医学部は、学科別に募集し、合格者を決定します。
- (4) 薬学部は、薬科学科と薬学科を合わせた学部単位で募集（両学科一括募集）し、合格者を決定します。
- (5) 工学部は、学部として募集しますが、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。なお、第1～第2志望まで学科を選択することができることとし、成績及び志望順位に基づき合格者を決定します。
- (6) 農学部は、学部として募集しますが、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。なお、第1～第6志望まで学科を選択することができることとし、成績及び志望順位に基づき合格者を決定します。

II 出願資格

次のいずれかに該当する者で、令和2年度大学入試センター試験において受験を課す教科・科目（8～27ページに記載した各学部の「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄参照）のすべてを受験した者。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号「大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定」）
7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの（下記【個別入学資格審査の申請方法等】参照）

【個別入学資格審査の申請方法等】

上記の出願資格8. により出願を希望する者は、事前に個別の入学資格審査を申請してください。審査の結果、資格を認定された場合のみ出願が認められます。

なお、出願資格1.～7.により出願を希望する者は、入学資格審査を申請する必要はありません。

1. 入学資格認定の申請対象者

出願資格8. として申請可能な者は、学校教育法施行規則第150条第7号に該当する者で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する又は有する見込みのものです。ただし、令和2年度大学入試センター試験を受験した者に限ります。

2. 申請書類

- ① 入学資格認定申請書（本学所定の様式）
- ② 出身教育施設の修了（又は修了見込み）証明書
- ③ 出身教育施設の規則等
- ④ 出身教育施設のカリキュラム（修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）
- ⑤ 返信用封筒〔長形3号封筒に申請者の住所・氏名を明記して、809円分（書留速達料金）の切手貼付〕

3. 申請受理期間

令和2年1月20日（月）から1月22日（水）まで。

上記期間内に「書留速達郵便」にて「入学資格認定申請書類在中」と朱書きし、郵送（期限内必着）してください。なお、提出された書類は一切返却しません。

4. 審査方法

申請者から提出された入学資格認定申請書及び出身教育施設の修了（又は修了見込み）証明書等に基づき審査します。

5. 認定基準

認定の基準は、専修学校高等課程の修了者に入学資格を認める基準を準用し、各教科の修得単位数等について、原則として次に掲げる条件を満たした教育を行う施設で当該教育を修了していること、又は修了する見込みであること。

※単位については、1単位時間を50分とする。

- (1) 修了に必要な総単位時間数は、2,590単位時間以上とする。
- (2) 修了に必要な普通教科の総単位時間数は、420単位時間以上とする。
普通教科は国語（日本語）、地理歴史、公民、数学、理科、外国語とする。
- (3) 前項の教科以外の履修が、前項の教科と同様の成果が期待できる場合においては、その教科の履修をもって、前項の教科の一部又は全部に替えることができる。

6. 認定について

審査の結果、入学資格認定者には認定書を交付します。認定書を一度交付された場合、再度申請する必要はありません。

7. 提出先・照会先 ※ 申請予定者は申請前に必ず連絡してください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育推進・学生支援部入試企画課 TEL：075-753-2521

Ⅲ 入学者選抜方法等

入学者選抜は、大学入試センター試験の成績、一般入試個別学力検査（以下、「個別学力検査」と省略）等の成績及び調査書を資料とし、各学部の判断基準により総合して判定します。

学力検査等の成績判定は、大学入試センター試験の成績を8～27ページに記載した各学部の「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄の配点に換算したうえ、これと個別学力検査等の成績とを総合して行います。

なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。

1. 2段階選抜

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合には、大学入試センター試験の成績等により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、各学部において8～27ページに記載した各学部の「個別学力検査等」欄の「第1段階選抜」に掲載の方法により、それぞれ第1段階選抜合格者を決定し、個別学力検査等を行います。

【第1段階選抜合格者発表】

第1段階選抜結果の発表は、掲示にはよらず、次の方法により志願者に通知します。

(1) 第1段階選抜を実施した場合は、その合格者には個別学力検査等の受験票を送付します。不合格者には不合格通知書を送付します。

第1段階選抜を実施しなかった場合は、志願者全員に受験票を送付します。

(2) 第1段階選抜結果の通知は、2月12日（水）頃に各学部から発送の予定です。

なお、2月18日（火）を過ぎても到着しないときは、出願した学部の教務担当（81ページ参照）へ問い合わせてください。

2. 個別学力検査等実施場所

個別学力検査等は、吉田キャンパス（京都市左京区）で行う予定です。（場所等は80ページ参照）ただし、志願者数により、上記以外の場所で行うこともあります。個別学力検査等の実施場所、経路の詳細は、受験票発送時にお知らせします。

※ 本学では、志願者に対する宿泊施設等のあっせんは行っておりません。

なお、京都大学生生活協同組合において宿泊案内を行っております。

Webサイト：<http://www.s-coop.net/>

3. 個別学力検査等実施期日・時間

個別学力検査等実施期日・時間は、次ページのとおりでです。追試験は実施しません。

4. 入学者選抜の実施教科・科目等

入学者選抜の実施教科・科目等は、8～27ページのとおりでです。

なお、大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のように略しています。

国語→国、地理歴史→地歴、世界史B→世B、日本史B→日B、「倫理、政治・経済」→「倫、政経」
数学→数、数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅲ→数Ⅲ、数学A→数A、数学B→数B
理科→理、物理基礎→物基、化学基礎→化基、生物基礎→生基、地学基礎→地基
外国語→外、英語→英、ドイツ語→独、フランス語→仏、中国語→中、韓国語→韓

【注意】大学入試センター試験の成績利用の方法について

大学入試センター試験の「地理歴史・公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

第1解答科目が学部の指定した利用教科・科目でない場合は、出願資格を無資格としますので、注意してください。

個別学力検査等実施期日・時間

学 部		日程等		2月25日（火）				2月26日（水）				2月27日（木）		3月12日（木）	
		教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間		
総合人間 学 部	文系	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/		/			
	理系	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分						
文 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/		/			
教育学部	文系	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分						
	理系	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科 (1科目)	15時00分 ～ 16時30分						
法学部	前期	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/		/			
	後期	/						/						小論文	14時00分 ～ 16時30分
経済学部	文系	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分	/		/			
	理系	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	/							
理 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分	/		/			
医 学 部	医 学 科	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分					面 接	9時00分 ～ 17時30分
	人 間 健 康 科	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分	/		/			
薬 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分						
工 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分	/		/			
農 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分						

【総合人間学部】

◇募集人員115人（前期日程：文系62人・理系53人）

※特色入試において最終的な入学手続き数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
文系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	*	50	*	100	*	150	150
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1									
	公民	「倫, 政経」	数	数I・数II・数A・数B									
理系	数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1	約3.5倍	個別学力検査	150	100		200		200	650
	理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 (※注1-1, 参照)											
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1											
		[5教科8科目] または [6教科8科目]				計	150	150	200	100	200	800	
理系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	*	100	*	*	*	100	100
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B									
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, } から2 生物, 地学									
理系	数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1	約3.5倍	個別学力検査	150			200	200	150	700
	理	物理, 化学, } から2 生物, 地学											
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1											
		[5教科7科目]				計	150	100	200	200	150	800	

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 文系の「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 理系の「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行います。

(注2)「個別学力検査等」について

1. 「地理歴史」について

大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

2. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「理科」について

(1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

(注3)「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」について

大学入試センター試験で課す＊印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象としますが、学力検査等の得点対象としません。

【文学部】

◇募集人員210人（前期日程：210人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50	250
地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1									
公民	「倫, 政経」	数	数I・数II・数A・数B		個別学力検査	150	100		100		150	500
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1									
理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 (※注1 1.参照)				計	200	150		150	50	200	750
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 <small>(5教科8科目) または (6教科8科目)</small>											

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点、リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「地理歴史」について
大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学I」、「数学II」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学I」、「数学II」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【教育学部】

◇募集人員54人（前期日程：文系44人・理系10人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
文系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50	250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1									
	公民	「倫, 政経」	数	数I・数II・数A・数B		個別学力検査	200	100		150		200	650
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1										
理系	理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 (※注1 1.参照)	外	英, 独, 仏, 中 から1	計	250	150	200	50	250	900		
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1	(5教科8科目)または(6教科8科目)											
理系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50	250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B									
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, } から1 生物, 地学		個別学力検査	150			200	100	200	650
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1										
理系	理	物理, 化学, } から2 生物, 地学	計	200	50	250	150	250	900				
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1	(5教科7科目)											

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 文系の「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 理系の「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

(注2)「個別学力検査等」について

1. 「地理歴史」について

大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

2. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「理科」について

(1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【法学部】

◇入学定員330人（募集人員 前期日程 310人（外国学校出身者のための選考入学者10人以内を含む）

後期日程（特色入試）20人）

※法学部は「前期日程」及び「後期日程（特色入試）」に分けて募集します。

※「後期日程（特色入試）」については54～55ページ参照。

募集区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
前期	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	前期募集人員の約3.5倍	センター試験	(200)	(200)		(200)	(100)	(200)	270 (900)
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1		個別学力検査	150	100		150		150	550
	公民	「倫, 政経」 (※注1 1.参照)	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B		計							
数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1										
理	物基, 化基, } から2												
外	生基, 地基 (※注1 2.参照)												
	英, 独, 仏, 中, 韓 から1												
	〔5教科8科目〕または〔6教科8科目〕												820

※法学部の試験成績は、大学入試センター試験の成績（合計の900点満点を270点満点に換算）と個別学力検査の成績（550点満点）とを総合（820点満点）して算出します。

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史, 公民」について、「世界史B」と「日本史B」のうちの少なくとも1科目が含まれるように、2科目を選択してください。
- 「理科」について、「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点, リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行います。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「地理歴史」について
大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【経済学部】

◇募集人員215人（前期日程：文系190人・理系25人・その他若干名）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

※「文系」は外国学校出身者のための選考入学者10人以内を含む。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
文系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50	250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1									
	公民	「倫, 政経」	数	数I・数II・数A・数B		個別学力検査	150	100		150		150	550
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1	計	200	150	200	50	200	800			
理	物基, 化基, } から2												
外	生基, 地基 } から2 (※注1 1参照)												
	英, 独, 仏, 中, 韓 から1												
		(5教科8科目) または (6教科8科目)											
理系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50	250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B									
	公民	「倫, 政経」	外	英, 独, 仏, 中 から1		個別学力検査	150			300		200	650
数	「数I・数A」, 「数II・数B」			計	200	50	350	50	250	900			
理	物理, 化学, } から1												
外	生物, 地学 } から1												
	英, 独, 仏, 中, 韓 から1												
		(5教科6科目)											

【注1】「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 文系の「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 理系の「地理歴史、公民」及び「理科」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

(注2)「個別学力検査等」について

1. 「地理歴史」について

大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

2. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【理学部】

◇募集人員306人（前期日程：306人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	センター試験の得点が630点以上 (※注2 4参照)	センター試験	50	25		50	50	50	225
地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		個別学力検査	150			300	300	225	975
公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, } から2		計	200	25		350	350	275	1200
数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	外	英									
理	物理, 化学, } から2											
外	英											
〔5教科7科目〕												

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。
英語 250点満点(筆記 200点満点, リスニング 50点満点)を第1段階選抜においては 200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお, リスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「理科」について
 - 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
 - 物理: 「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - 化学: 「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - 生物: 「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
 - 地学: 「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

利用する大学入試センター試験5教科7科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中630点以上の者を第1段階選抜合格者とします。

【医学部】

◇募集人員170人（前期日程：医学科100人，人間健康科学科 70人）

※医学部医学科の募集人員については、3ページの「1. 入学定員・募集人員」を参照してください。

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等	教科等	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
医学科	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	※注2 5.(1) 参照	センター試験	50	50		50	50	50		250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		個別学力検査	150			250	300	300	※注2 4参照	1000
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, 生物 から2		計	200	50		300	350	350	※注2 4参照	1250
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1										
	理	物理, 化学, 生物 から2	その他	面接(※注2 4参照)										
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科7科目〕												
人間健康科学科	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学科募集人員の 約3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50		250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		個別学力検査	150			200	200	200		750
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, 生物 から2		計	200	50		250	250	250		1000
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	外	英										
	理	物理, 化学, 生物 から2												
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科7科目〕												

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史, 公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点, リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

2. 「理科」について

- (1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- (2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 「面接」について

医学科：面接試験では、「医学部医学科が望む学生像」（【学部・学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】参照）に記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性などについて評価を行い、学科試験の成績と総合して合否を判定します。

従って、学科試験の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。

調査書は、志願者個人を特定するような情報及び属性に関する情報（氏名・性別・住所等）を除き、面接の参考資料にします。

高等学校卒業後5年以上で調査書の記載がないもの、記載内容が不明確なもの、あるいは、疑義のあるものなどは、別途指定した書類の提出を卒業学校等へ依頼することがあります。

また、面接の参考資料とするため、個別学力検査受験者全員から、受験に至るまでの経緯・志望理由などを記載した書類（受験票送付時に同封する本学科所定用紙）の提出を求めます。

5. 第1段階選抜について

- (1) 医学科は、利用する大学入試センター試験5教科7科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍までの者を総得点の順位に従って第1段階選抜の合格者とします。
- (2) 人間健康科学科は、入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【薬学部】

◇募集人員74人（前期日程：74人，その他若干名）

※薬学部は，薬科学科（修業年限4年，薬剤師国家試験受験資格なし）と薬学科（修業年限6年，薬剤師国家試験受験資格あり）を合わせた学部単位での募集（両学科一括募集）を行います（詳細は3ページ I 入学定員・募集方法等 1. 入学定員・募集人員を参照のこと）。

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
薬科学科・薬学科	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学部募集人員の約3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50	250
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B		個別学力検査	100			200	200	200	700
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, 生物 から2									
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英										
理	物理, 化学, } から2												
外	生物, 地学 } から2												
	英, 独, 仏, 中, 韓 から1												
	[5教科7科目]					計	150	50		250	250	250	950

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

1. 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用います。
2. 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
英語250点満点（筆記200点満点，リスニング50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

1. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

2. 「理科」について

(1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【工学部】

- ◇募集人員928人（前期日程：地球工学科182人，建築学科78人，物理工学科230人，電気電子工学科123人，情報学科87人，工業化学科228人，その他若干名）
 ※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。
 ※地球工学科は，外国人留学生を対象とした国際コースのための選考入学者30人以内を含む。

	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
全 学 科 共 通	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学部募集人員の約3.0倍	センター試験	50	100		*	*	50	200
	地歴	世B，日B，地理B，	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		個別学力検査	100			250	250	200	800
	公民	「倫，政経」	理	物理		計	150	100		250	250	250	1000
	数	「数Ⅰ・数A」，「数Ⅱ・数B」	外	化学									
	理	物理（必ず選択すること）		英									
	外	化学，生物 から1 英，独，仏，中，韓 から1 〔5教科7科目〕											

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用品。
- 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
 英語 250点満点（筆記 200点満点，リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
 なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
 「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
 「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「理科」について
 - 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

工学部全体の志願者が工学部募集人員の約3.0倍を上回った場合、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、工学部全体の志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

5. その他

第1～第2志望まで学科を選択することができます。

(注3)「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」について

大学入試センター試験で課す*印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象としますが、学力検査等の得点対象としません。

【農学部】

◇募集人員281人（前期日程：資源生物科学科91人，応用生命科学科43人，地域環境工学科34人，食料・環境経済学科29人，森林科学科54人，食品生物科学科30人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語
全 学 科 共 通	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学部募集人員 の約3.5倍	センター試験	100	100	50	50	50	350
	地歴	世B, 日B, 地理B,	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B								
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学,								
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	外	生物, 地学		個別学力検査	100		200	200	200	700
理	物理, 化学,		英, 独, 仏, 中 から1									
外	生物, 地学					計	200	100	250	250	250	1050
		英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科7科目〕										

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点，リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「理科」について
 - 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
 - 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
 - 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

農学部全体の志願者が農学部募集人員の約3.5倍を上回った場合、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、農学部全体の志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

5. その他

第1～第6志望まで学科を選択することができます。

Ⅳ 出 願 手 続

出願手続は、出願書類受理期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。不備のないよう注意してください。

1. 出願手順

(1) 事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン等の準備
ご家庭にない場合は、学校や図書館など自宅外のパソコンからも出願できます。
- ②プリンタの準備
インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷するために必要です。
- ③必要書類の準備（30ページ [3. 出願に要する書類等] 参照）
- ④角形2号（角2）封筒（240mm×332mm）の準備
出願に必要な書類を送付するため、市販の角形2号（角2）封筒を準備してください。

(2) インターネット出願システムに登録する（1月公開予定）

インターネット出願システムのページには、京都大学一般入試Webサイトからアクセスできます。http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/undergrad/web_application

(3) 出願登録

画面の案内に従って、志望情報、志願者個人情報を入力します。

(4) 出願内容の確認

登録した内容を確認してください。内容に間違いがある場合は、「修正する」ボタンを押して修正してください。

(5) 入学検定料等納入方法の選択（決済情報入力）

画面の指示に従って、入学検定料等の納入方法を選択してください。納入方法として「クレジットカードで支払う」もしくは「コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで支払う」のどちらかを選択できます。

※出願登録の際に必要な料金は以下のとおりとなります。

- ①入学検定料（17,000円）
- ②受験票等送付料（384円（医学部医学科は430円））
- ③試験成績送付料（498円）※希望者のみ。詳細は32ページ参照。

以上①～③の料金の他に支払い手数料*が必要となります。

*最終的な料金はインターネット出願システム画面で確認してください。なお、今年度の料金は650円を予定しています。

※出願書類を受理した後は、29ページ[※検定料の返還について]のA、イに該当する場合は除き、いかなる理由があっても納入済みの入学検定料は返金しませんので注意してください。

※入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。

(6) 宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷する

出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷してください。

(7) 必要書類の郵送

宛名ラベルを貼り付けた封筒に必要書類を封入し、必ず、書留の速達便で郵送してください。なお、いかなる理由があっても持参による出願は、一切受け付けませんのでご注意ください。

2. 入学検定料等の納入方法等

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

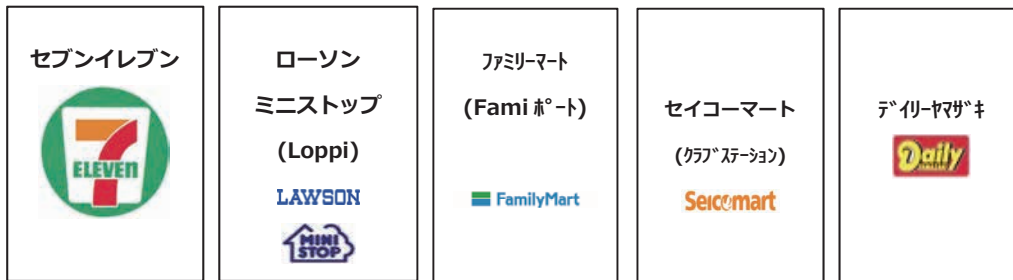
詳しい支払い方法については、出願をする際に、インターネット出願システム上の「入学検定料の支払方法について」の項目を確認してください。

①クレジットカード

クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。お支払いされるカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。

②コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。以下のコンビニで支払いが可能です。



③金融機関 ATM 【Pay-easy】

金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。支払い可能金融機関は、下記ページの「ATM 利用可能一覧」を確認してください。

http://www.well-net.jp/multi/financial_list/index.html

④ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

※検定料の返還について

ア. 第 1 段階選抜不合格者及び出願無資格者

検定料の一部（13,000 円）を返還します。不合格通知書又は出願無資格通知書を送付する際に、返還手続方法について連絡します。

イ. 検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合および誤って二重に納入した場合

検定料の全額（17,000 円）及び受験票等送付料（384 円（医学部医学科は 430 円））を返還します。検定料の返還を希望する旨を明記のうえ、①志願者氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤検定料の納入方法 ⑥納入した金融機関名及び支店名又はコンビニエンスストア名及び店名を、下記までファックスにてお知らせください。記載の住所へ返還手続書類を郵送しますので、それに従って手続をしてください。

ウ. 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

TEL : 075-753-2521 FAX : 075-753-2565

以下の災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、入試企画課（TEL：075-753-2521）へお問い合わせください。

①平成23年3月に発生した東日本大震災、②平成28年4月に発生した熊本地震、③平成30年7月豪雨、④平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震、⑤令和元年10月に発生した台風第19号

3. 出願に要する書類等

市販の封筒（角2サイズ 240mm×332mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての必要書類を封入し郵送してください。

① 志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。なお、以下の点に留意して提出ください。 【志願票】 必ず、所定の欄の枠内に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」「前国公立前期日程用」を貼り付けてください。（成績請求票を提出しない場合は、受験者としての権利を失いますので注意してください。） 【写真票】 上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を枠内に貼り付けてください。 *おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備しておいてください。
② 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 *調査書が得られない場合は、以下に記載の【調査書に代えることができる書類について】を参照してください。
③ 入学資格認定書（写） （該当者のみ）	5ページの「Ⅱ 出願資格 8.」により、本学に入学資格認定の申請をし、認定を受けた者は、本学交付の入学資格認定書の写しを必ず提出してください。

【調査書に代えることができる書類について】

- (1) 指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、「卒業証明書及び成績証明書」を提出してください。成績証明書等を提出できない場合は、「卒業証明書」に加えて学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。
- (2) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）合格者は、「合格成績証明書」（合格証明書は不要）を提出してください。ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、免除された科目の高等学校等の調査書又は「成績証明書」を添えてください。
- (3) 上記（1）および（2）以外の者は、「修了証明書（資格証明書）及び成績証明書」を提出してください。

【注意事項】

- (1) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- (2) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
- (3) 出願書類の受理後は、出願書類を返却しません。
- (4) 現在、大学等に在学している者は、受験に際して受験許可書や退学証明書は必要ありません。ただし、本学に入学する際は、3月31日までに退学し、入学予定学部の教務担当（81ページ参照）に退学証明書を速やかに提出してください。

4. 出願期間および入学検定料納入期間

インターネット出願の登録期間および入学検定料納入期間
令和2年1月20日（月）午前10時から2月5日（水）午後5時まで

出願書類受理期間
令和2年1月27日（月）から2月5日（水）午後5時（必着）まで

インターネット出願登録期間及び入学検定料納入期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類受理期間中に書類が本学に到着していなければなりません。

（持参不可）

※ただし、出願書類については2月1日（土）以前の発信局消印のある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

5. 出願状況の情報提供

- (1) 各学部の出願状況について、下記の期間中本学 Web サイト (<http://www.kyoto-u.ac.jp>) 上に情報提供を行います。（令和2年1月27日（月）午後7時から）
- (2) 個別の出願書類の配達状況について、本学では対応いたしかねますので、日本郵便の追跡サービス (<http://www.post.japanpost.jp/index.html>) をご利用ください。

6. 受験票の送付

「受験票」及び「受験上の諸注意」等の発送は令和2年2月12日（水）頃を予定しています。
なお、第1段階選抜不合格者には不合格通知書を、出願無資格者には出願無資格通知書を送付します。
2月18日（火）を過ぎても通知が届かない場合は出願した学部の教務担当（81ページ参照）へ問い合わせてください。

V 入試情報開示

本学では、試験成績、調査票について受験者本人からの請求があれば、以下のとおり開示します。

個人情報保護の観点から、代理人による開示申請は、理由の如何を問わず受け付けません。

【試験成績】

令和2年度入試の試験成績の開示を希望する者は、インターネット出願システムで試験成績送付を申し込んでください（送付料として498円が必要です）。令和2年5月上旬に書留郵便（親展）で送付します。

開示する試験成績は、大学入試センター試験と受験した学部における個別学力検査等の教科別の得点（配点換算前及び換算後）及び総点です。参考として満点、合格者の最高点、最低点及び平均点を記載しています。

また、個別学力検査等の受験者本人に限り、令和2年7月1日（水）から令和2年11月30日（月）の間に、受験学部の教務担当事務室（場所は80ページ参照）において試験成績を開示します（個別学力検査等の受験票、または本人確認ができるものを持参してください）。

※試験成績送付申し込み者のうち第1段階選抜不合格者及び出願無資格者に対しては、試験成績送付料（498円）を返還します。不合格通知書等を送付する際に、返還手続方法についてもあわせてお知らせします。

【調査書】

令和2年度入試の調査書の開示を希望する者は、令和2年7月1日（水）から令和2年11月30日（月）までの間に、受験学部の教務担当事務室で申請してください。申請後1週間以内に調査書の閲覧が受験学部の教務担当事務室で可能になります。申請・閲覧ともに個別学力検査等の受験者本人に限りますので、個別学力検査等の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。

なお、開示する調査書の内容は、不開示情報（「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄）を除いた部分となります。

《注意事項》

試験成績・調査書共に、遠方に居住しているため、直接本学に出向くことが困難な方については、郵送にて請求を受け付けますので、必ず受験学部の教務担当事務室に連絡したうえ請求してください。

VI 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本学では、障害等のある受験希望者からの入学試験における合理的配慮の提供に関する相談を常時受け付けています。下の様式を用いて、志望する学部の教務担当へ連絡してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、原則として12月末までに連絡してください。また、不慮の事故等で1月以降に相談が必要となった場合も、できるだけ早くに志望する学部の教務担当へ連絡してください。

<p>(様式) A4 判縦</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p>京都大学〇〇学部長 殿</p> <p style="text-align: center;">氏名（ふりがな）・性別・生年月日 連絡先（住所・電話番号・メールアドレス等） 出身学校名・卒業/卒業見込み年月（高卒認定の場合、 認定試験合格/合格見込み年月） 試験当日の保護者等緊急連絡先（電話番号）</p> <p>京都大学〇〇学部に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談を希望します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 志望する学部・学科，受験科目 2. 障害等の種類，程度 3. 受験上希望する配慮事項 4. 添付書類 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書 ・大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書（写）（通知を受けている者） ・その他，相談する際に必要と思われる参考資料 <p style="margin-left: 2em;">例）障害者手帳（写），検査結果（写），これまでの教育機関における配慮事項，日常生活の状況 など</p>
--

※本学では、受験上の配慮とともに、修学上の配慮に関する相談も受け付けています。修学上の配慮について、受験上の配慮とあわせて相談する場合は、希望する配慮事項を別紙（A4判縦，様式自由）に記載して、上記様式に添付してください。修学上の配慮に関する相談は、合格発表後あるいは入学後でも構いませんが、対応に時間を要することがありますので、できるだけ早くに学部の教務担当に連絡してください。

※個人情報については、〔独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律〕及び〔京都大学における個人情報の保護に関する規程〕に基づいて取り扱います。

Ⅶ 受験に関する注意事項等

1. 受験に関する注意事項等は、個別学力検査等の前日午後に、出願した学部において掲示しますので、必ず確認しておいてください。
2. 個別学力検査等前日及び当日の自動車、バイク等での試験場構内への乗入を禁止します。
3. 個別学力検査等当日は、**個別学力検査等の受験票及び大学入試センター試験の受験票を必ず持参してください。**（入学手続きの際にも両方の受験票が必要になります。）
4. 個別学力検査等当日は、各学部の指示する時刻及び場所に集合してください（時刻の指示がない場合は**試験開始30分前**までに集合してください）。ただし、医学部医学科の**面接試験の集合時刻・場所**については、受験票送付時に別途通知します。
5. 試験開始時刻に遅れた場合は、各教科等とも**試験開始後30分以内**に限り入室を認めます。
ただし、医学部医学科の**面接試験の控え室への入室限度時刻**については、受験票送付時に別途通知しますので注意してください。
6. 個別学力検査等において使用を認めるものは、**黒鉛筆**（シャープペンシルも可。ただし、芯ケースは、かばんにしまうこと）・**鉛筆キャップ**・**鉛筆削り**（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）・**消しゴム**・**ハンカチ**（漢字、英文字や地図等がプリントされていないもの）・**ティッシュペーパー**（袋または箱から中身だけを取り出したもの）に限ります。※定規等の補助具は使用できません。
また、**座布団**・**ひざ掛け**（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む）・**カイロ**で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。
健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
なお、**時計**（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）は試験室に入る前にかばんにしまっておいてください。各試験室に電波時計を設置していますので、試験時間の確認は可能です。
7. **携帯電話**・**スマートフォン**・**スマートウォッチ等の電子機器類**は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまっておいてください。試験時間中に身につけている場合、不正行為と見なすことがありますので注意してください。これらを時計として使用することはできません。
8. 試験時間中に監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
9. 不正行為等（★「不正行為等の取り扱い」参照）の理由で退場を命じられた者は、受験資格を失います。
10. その他受験に関する問い合わせは、出願した学部の教務担当（81ページ参照）に照会してください。

詐欺まがいの行為に注意してください！

例年、試験場周辺において本学関係者を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

本学関係者が受験者の個人情報を聞き出し、現金を要求することは一切ありません。

★ 不正行為等の取り扱い

- ① 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退場を命じられ〔不正行為失格〕となります。〔不正行為失格〕が命じられた場合は、全教科の受験資格を失うこととなります。

ア. 受験票に本人以外の写真が貼ってあった場合や解答冊子に本人以外の名前や受験番号を記入した場合。
 イ. カンニング（カンニングペーパー・教科書・辞書及び参考書類の使用，他の人から答えを教わることなど）を行うこと。
 ウ. 他の受験者に答えを教えたり，解答冊子の交換等により，カンニングの手助けを行うこと。
 エ. 試験時間中に，問題冊子・解答冊子・下書き用紙を試験室から持ち出すこと。
 オ. 『解答を始めなさい。』の指示前に，問題冊子を開いたり，解答を始めること。
 カ. 試験時間中に，スマートウォッチ等のウェアラブル端末・携帯電話・スマートフォン・電子辞書等の電子機器類を使用すること。
 キ. 試験時間中に，定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すること。
 ク. 『解答をやめなさい。』の指示に従わず，解答を続けること。

- ② 上記①以外にも，次の行為を行うと不正行為となることがあり，場合によっては，文書により警告します。不正行為と見なされた場合の取り扱いは上記①の場合と同じです。

ア. 試験時間中に，時計（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）・携帯電話・スマートフォン・電子辞書等の電子機器類や定規・コンパス・電卓等の補助具をかばん等にしまわず，机の上に置いたり，身につけていたり，手に持っていること。
 イ. 解答冊子の見せ合い，話し合い，のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。
 ウ. 試験時間中に，長い間，机の下に手を入れたり，服のポケット等に手を入れたりすること。

- ③ 次の行為を行うと試験妨害と見なされ，その場で試験の中止と退場を命じられ〔退場命令失格〕となります。〔退場命令失格〕が命じられた場合は，全教科の受験資格を失うこととなります。

ア. 監督者の指示に従わず，他の受験者に迷惑となる行為を繰り返すこと。
 イ. その他，試験の公平な実施を損なうおそれのある行為をすること。

Ⅷ 合格者発表

合格者の発表は、次の日時・場所において、合格者の受験番号を掲示します。


発 表 日	時 間	場 所
令和2年3月10日(火)	正 午	各学部の掲示場
掲 示 期 間		
前期：令和2年3月10日(火) 正午～3月16日(月) 午後5時		

※ 受験者への合否の通知等はいりません。また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

なお、合格者へは、入学手続きに関する案内等を合格発表日(3月10日)に本学から発送予定です。

◎ 京都大学入試情報 Web サイトにおける発表について

合格者受験番号を京都大学入試情報 Web サイトにおいて、合格者発表日の正午に掲載します。

携帯電話・パソコン 共通アドレス	
https://daigakuic.jp/kyoto-u/	
掲載期間	
前期：令和2年3月10日(火) 正午～3月16日(月) 午後5時	

Ⅸ 入学手続

入学手続は、「1. 入学手続に必要なもの」を期限までに、京都大学一般入試 Web サイトから印刷した入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により書留速達で郵送してください。

所定の期限までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

1. 入学手続に必要なもの

(1) 入学料振込金受付証明書 <入学料 282,000円(予定)>

(注) 受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。

(2) 大学入試センター試験受験票

(3) 本学受験票

(4) 学籍登録シート

(注) 受験票送付時に同封する「学籍登録シート」に写真※を貼付し、氏名等の修正の有無を記入してください。

「大学入試センター試験受験票」記載の「氏名・フリガナ・生年月日」を学籍情報として登録し、学生証を作成しますので、氏名等を必ず確認し、その記載に間違い等がある場合は、それを訂正してください。訂正がない場合は、「訂正無し」欄にチェックを入れてください。

※ 写真について

- ・サイズは縦3cm×横2.4cm、脱帽正面向きで3か月以内に撮影したもの。光沢仕上げ(絹目仕上げは不可)。
- ・裏面に氏名、合格した学部・学科名及び個別学力検査の受験番号を記入してください。

- ・写真は学生証に印刷され、在学期間中（4年間または6年間）使用しますので、高等学校等の制服着用のは避けてください。写真を変更するために学生証を再作成する場合は有料となります。

【入学料等について】

- ア. 入学料は、受験票郵送時に同封する本学所定の「振込依頼書」により、合格者発表後から入学
 手続時までに金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局は除く）の窓口で納入してください。振込の際、
 収納印の押された「振込金受付証明書」を受け取り、受験票送付時に同封する「振込金受付証明
 書貼付台紙」に貼付し、郵送してください。
- イ. 納入した入学料は、返還しません。ただし、所定の入学手続期間内に入学辞退を申し出た者
 についてはこの限りではありません。
- ウ. 授業料は、入学後に口座振替により納入いただきます。（引落時期：5月27日、11月27日）
 ※27日が土日祝日の場合はその翌営業日が振替日となります。
 <令和2年度前期分授業料 267,900円（予定）>
 ※授業料は入学時及び在学中に改定されることがあります。
 ※口座振替のお申込みが間に合わないなどの事情により、口座振替による納入ができない学生
 にのみ「振込依頼書」を5月20日頃にお送りいたしますので、当該依頼書をご利用ください。
- エ. 入学料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、73ページ「Ⅲ. 修学案内」を参照し
 てください。入学料を納入すると申請できませんので注意してください。

2. 入学手続方法

（1）郵送締切日時

令和2年3月14日（土） 午後5時必着

ただし、上記締切日時までに手続ができない場合は、合格した学部の教務担当（81ページ参照）
 へ締切日時までに連絡して、指示に従ってください。

（2）郵送先・郵送方法

宛先は合格した学部の教務担当とし、36～37ページの「1. 入学手続に必要なもの」をすべて
 同封し、京都大学一般入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、必
 ず書留速達として郵送してください。

※配達状況については、日本郵便の追跡サービス (<https://www.post.japanpost.jp/index.html>)
 を利用して確認することができます。

（3）注意事項等

入学手続が完了後、「大学入試センター試験受験票」、「本学受験票」、「入学許可書」、「入学案内-授
 業開始までの手続と行事-」等の書類を、3月18日（水）までに発送します。これ以後の各種手続
 は Web を用いたオンラインシステム上で行うこととなります。詳細につきましては、「入学案内-授
 業開始までの手続と行事-」等をご覧ください。3月23日（月）を過ぎても書類が届かない場合は、
 合格した学部の教務担当（81ページ参照）へ問い合わせてください。

3. 入学辞退手続

合格者であって、本学への入学の意思がなく、入学を辞退しようとする者は、3月14日（土）午後
 5時までに合格した学部の教務担当（81ページ参照）へ申し出るとともに、入学を辞退する旨を明記
 のうえ、①合格者氏名 ②受験番号 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号をファックスにてお知らせくだ
 さい。なお、ファックス番号は申し出の際にお知らせします。

入学を辞退した者は、本学への入学手続を行うことはできません。

4. 入学手続上の諸注意

本学を含め1つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。また、本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に入学手続することはできません。※ 公立大学協会 Web サイト (<http://www.kodaikyo.org>) 参照のこと。

X 追加合格

追加合格を行う場合は、追加合格候補者に対し、3月28日（土）から3月31日（火）までの間に、当該学部から志願票に記載の連絡場所へ通知します。

ただし、本学から追加合格候補者として通知を受けた者であっても、既に他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）で入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格者の入学手続は、次のとおり行います。

1. 入学手続日 当該学部から指示します。
2. 入学手続場所 出願した学部の事務室
3. 入学手続に必要なもの 「X 入学手続 1. 入学手続に必要なもの」と同様です。

入学料・授業料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、入学手続の際にその旨伝えてください。

XI 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

1. 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1. 及び2. の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。

したがって、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付いたします。
5. 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

Ⅷ 学部・学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

◇総合人間学部

総合人間学部は、たえず変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。この挑戦に積極的に加わり、志をもつ人、高い倫理性と豊かな人間性を持ちつつ、国際的視野から人類が直面する様々な課題に向きあおうとする進取の精神をもつ人、持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人を本学部は求めます。

総合人間学部が入学を希望する人に求めるものは、高等学校の教育課程の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加えて、その内容を活用する主体的な思考力・判断力・表現力、そして他者と協働しながら学ぶ態度です。

総合人間学部の入学者選抜は、京都大学の一般入試において、文系試験と理系試験の2つに分けて実施し、多様な基礎的学力を測ります。また本学部独自の特色入試では、高等学校における学びの成果、基礎的学力とともに、文系と理系の総合的な思考力・表現力を評価します。これらの入試においては、総合的な学力の評価を行うために大学入試センター試験の成績を取り入れ、合否判定を行っています。

◇文学部

京都大学文学部は、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる学術を教授することを教育理念の根幹としています。この理念に基づき、広い教養と深い専門知識を具え、人類の文化の継承と調和ある発展に寄与するとともに、倫理性にも優れた学生を育成することを教育目標とします。この教育目標を達成するために、本学部は、人文学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することをめざす学生を求めています。この教育目標にそって、入学希望者に対しては、以下の点を入学前に具えておくことを求めます。

1. 総合的な基礎学力をもっている。より具体的には、高等学校の教育課程の教科・科目の習得により培われる分析力や俯瞰力、またそこで学んだことを活用する力を幅広く備えている。
2. 過去から現在に至り、さらに未来にまでのびる人類の営みへ関心と異文化を理解する能力をもっている。
3. 高度の文章読解力と、外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力をもっている。
4. 論理的かつ柔軟で、創造性豊かな思考力とそれを表現する力をもっている。

入学後には、これらの力や関心を基礎として、人文学を中心とした幅広い科目の履修と「対話を根幹とした自学自習」の理念に基づく専修での学習・修練を経て、人文学に関する幅広い基礎的学識と特定の分野に関する深い理解を身につけ、人文学の発展に貢献するとともに、強固な責任感と高い倫理観をもって人類が直面する課題の解決に積極的に寄与することができるような能力を獲得することが期待されています。

入学試験においては、そうした入学後の学習を実り多いものとする程度に、上記の四項目の力や関心が具わっているかを判定します。

一般入試においては、大学入試センター試験を利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を見るとともに、個別学力検査において入学後の学習により密接にかかわる教科・科目についてより深く学力を判定します（詳細は募集要項を参照）。

特色入試においては、提出書類（「学びの設計書」等）・大学入試センター試験・論文試験・「学びの設計書」に関連する論述試験の4つの要素を総合的に利用して判定を行います（詳細は募集要項を参照）。

◇教育学部

本学部は、教育と人間に関わる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことにより、心、人間、社会についての専門的識見を養成し、さらに広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を形成し、責任感と高い倫理性をもって人間らしさを擁護し促進する態度を啓培することで、多様な人々との協働によって地球社会の調和ある共存に貢献できる人材の育成を目的としています。

本学部は、以上の目的を理解し、本学部での学修を希望する者に対して、1) 総合的な基礎学力、2) 人間と社会についての深い関心と洞察力、3) 柔軟な思考とゆたかな創造力をもち、大学教育を通して、人間と社会、教育や心理についての関心を深め、論理的・批判的思考力、問題解決力とコミュニケーション能力を身に付けることができる学生を求めています。

一般入試では、それらを大学入試センター試験及び「文系」型又は「理系」型の個別学力検査により評価します。「文系」型では、入学後の学習の基盤となる、地理歴史と数学、国語、ならびに外国語の4教科に対して個別学力試験を実施しています。論理的思考力と表現力を支える国語と専門教育において必要となる外国語の比重が大きいことが特徴です。「理系」型では、理系教科を重視し、文系用数学に代えて、理系用数学を、また、「文系」型における地理歴史に代えて理科に関して個別学力試験を実施しています。

また、いったん他学問分野での専門教育を受け、あるいはさらに社会経験を積んだ本学部以外の大学卒業生で、再度、教育諸学における専門教育の勉学を志す者に対しては、学士入学（第3年次編入学）の選抜試験により、上記1）～3）について評価します。

さらに、特色入試においては、上記1）～3）に加え、（1）教科及び総合的な学習の時間などにおいて、学習を深め、探究活動を行い、卓越した学力を身に付けていること、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、熟達を通して、深い洞察力を得ていること、（2）将来、主体的に社会に貢献する志をもっていることを、提出書類、課題と口頭試験に基づく選考、大学入試センター試験により評価します。

◇法 学 部

21世紀において、地球規模での交流が活発化し、科学技術や産業の革新が進む中、世界も日本も大きな転換期を迎えている今日、広い視野から国家・社会のあり方を深く考え、新たなビジョンを示して、時代を切り拓いていく優れた人材が求められています。

このような要請に応えるため、京都大学法学部は、自由の学風の下、豊かな教養を涵養し、国家・社会の制度や組織の設計及び運営等に必要なる法学及び政治学等の基本的知識の修得並びに思考力、判断力、構想力及び表現力等の育成を図り、グローバルな視野から、法、政治、経済及び社会を多角的かつ総合的に捉え、多様な価値観や文化を尊重し、地球・自然環境に配慮しつつ、多元的な課題の解決に取り組み、人々が協働し共に生きる社会の実現のために指導的な役割を果たすことができる優れた能力及び資質と高い志を備えた人材を養成することを教育目標としています。

1.法学部では、このような教育目標に基づいて編成・実施される教育課程において学び、学位授与の方針に示される能力及び資質等を修得して、様々な分野で指導的な役割を果たすことができるように、高等学校等において、国語、地理歴史、公民、数学、理科及び外国語などの教科・科目を幅広く履修し、深く学習するとともに、多様な課外活動の経験等を通じて、次に掲げる能力及び資質等を備える者の入学を期待しています。

- （1）国家・社会の制度や組織等の基礎及び背景を理解し、法、政治、経済及び社会を多角的かつ総合的に捉える基盤とするため、人間、社会及び自然に関する基本的知識及び見方・考え方を確実に身につけていること。
- （2）国家・社会の制度や組織の設計及び運営に携わり、企画立案を行い、課題を解決する基盤とするために、（1）に掲げる知識及び見方・考え方を活用して、多元的な課題を考える思考力、判断力及び構想力等の基本を身につけていること。
- （3）様々な分野で、多様な人々と協働し、指導的な役割を果たす基盤とするため、多様な考え方を理解し、論拠を示して自らの意見を述べることができる基本的なコミュニケーション能力、とりわけ論理的な文章を書く力の基本を身につけていること。
- （4）グローバル社会において活躍するために必要な英語その他の外国語の基本的な四技能をバランスよく身につけていること。
- （5）グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有すること。
- （6）人々が協働し共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること。

2.法学部では、1に掲げる能力及び資質等を備えているか否かを、次のような入学者選抜により判定します。

一般入試においては、5教科8科目又は6教科8科目の大学入試センター試験及び論述式試験を基本とする4教科の個別学力検査等により、1に掲げる（1）から（6）の能力及び資質等を総合的に判定します。

特色入試においては、5教科8科目又は6教科8科目の大学入試センター試験及び調査書の成績、日本語と英語の文章を題材とした小論文試験により、1に掲げる（1）から（6）の能力及び資質等について、特に（3）（5）及び（6）の能力及び資質等を重視して総合的に判定します。

◇経済学部

経済学・経営学は個人から政府に至るまでの幅広い対象の経済活動ならびに企業の営利活動を研究対象とし、個人や社会の厚生の上を目指す学問です。その研究対象は決して単純ではなく、財政、産業、雇用、金融、地球環境などに解決すべき諸問題が次々と発生し、複雑性を増しています。京都大学経済学部は、自由の学風を維持しつつ、経済学・経営学の基礎的な科目の教育を充実すると共に、絶えず新しい分野の学問を教育することを心がけ、社会経済の変化に柔軟に対応し、解決策を発見、創造できる人材を育成することで学界、官界、産業界に貢献してきました。

このような歴史を踏まえ、京都大学経済学部は、経済学・経営学的分析能力を修得できる知力と探究心を持ち、かつ、教員や他の学生と積極的に討論を重ねることにより、自主的に考え創造的な提案が行える人材に成長できる学生を求めており、以下のような学生の入学を期待しています。

【経済学部が求める学生像】

- 高等学校教育を通じて広範で高度な基礎知識を身につけるとともに、論理的思考力ならびに語学能力を修得している人
- 社会・経済活動全般に積極的に関与したいと考える、知的好奇心が旺盛な人

京都大学経済学部が求めるような学生の成長を促すうえでは、多様な背景をもつ学生を受け入れることが重要であり、現在、「文系入試」、「理系入試」および「特色入試」という3種類の学力検査を実施しています。

定員の多くを占める文系入試においては、経済学・経営学を学ぶための基礎となる地理歴史と数学、論理的思考力を担保する国語、専門教育や卒業後の国際的活動に不可欠な英語の4科目に関して個別学力試験を実施しています。理系入試においては、文系入試における地理歴史の試験に代えて理系用の数学試験を課すことで、経済分析で重要となる数理的能力を重視した選抜を行っています。特色入試では、書類審査の後、筆記試験で論文を課し、与えられた文章や資料を理解して問題点を把握できる能力、ならびに、自己の主張を的確に表現できる論理構成能力を重視した選抜を行っています。

また、これらの3種類の入試においては、総合的学力の評価を行うために大学入試センター試験の点数を取り入れた合否判定を行っています。その他にも、外国人留学生、外国学校出身者、3年次編入者向けに、多様な学力検査の機会を提供しています。

◇理学部

理学は自然現象を支配する原理や法則を探究する学問であり、その活動を通じて人類の知的財産としての文化の深く大きな発展に資するとともに、人類全体の生活向上と福祉に貢献する知的営為であります。京都大学理学部は、自由な雰囲気の下での学問的活動を何よりも大切に、新しい学問分野の創造に重要な役割を果たしてきました。その一端は、卒業生の中から4名のノーベル賞受賞者と2名のフィールズ賞受賞者を出したことからもうかがえます。現在もこの学風を継承し、多くの優れた人材を輩出する教育機関として更なる発展を続けています。京都大学理学部は、自由の学風の下で、将来の理学の創造、発展、応用、普及のための能力と知識を身につけることができる学生を求めており、以下のような学生の入学を期待しています。

【理学部が理想とする学生像】

- 自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人
- 高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人

京都大学理学部では1学科制のもと、「緩やかな専門化」を経て、それぞれの学生の能力・適性に合致した専門分野に向う教育を行っています。高等学校における数学と理科は、入学後、理学の各分野のより高度な内容を学ぶための基礎であり、それに対応できるような深い理解が求められます。また、国語は、論理的にものごとを考え表現する力の基礎となります。英語の力は、入学後、専門分野の学習、そして、将来の国際的な活動を支えるものとなります。したがって、入学する学生には、将来の専門にこだわることなく、高等学校において、幅広い学習を行ってこることを期待します。これらの学力を測るために、京都大学理学部では、数学・理科(物理、化学、生物、地学から2科目)・国語・英語の個別学力検査を実施するとともに、大学入試センター試験の点数も取り入れた合否判定を行っています。

また、理学の中でも特に数理科学の分野では、高等学校時から極めて優れた才能を現す者が見受けられます。

そのような学生を求めため、京都大学理学部では特色入試を行い、志願者の数学についての取り組みや達成に関する報告書等の提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、および大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定しています。

理学部の教育の概要はこちらをご覧ください：<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/about/divisions.html>

◇医 学 部

◎医学科

京都大学医学部は、1899年（明治32年）に京都帝国大学医科大学として創立された百有余年の歴史と伝統持つ医学部として、世界に誇る指導的な医学者、医学研究者を輩出してきました。医学部医学科は、京都大学が創立以来築いてきた自由の学風を継承し、医療の原点である「人を愛する」精神のもと、学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しています。

このような方針を踏まえ、世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、以下のような学生の入学を期待します。

【医学部医学科が望む学生像】

- ・自ら課題を発掘する好奇心や探究心、それを解決しようとする主体性を持っている人
- ・高い倫理性と豊かな人間性を備え、他者との協調性を持っている人
- ・優れた知的能力とともに、国際的視野を持っている人

入学する学生には高等学校等において、教育課程の教科・科目の習得による基礎学力に加え、分析力や俯瞰力により、これを高度な学びへと展開できる向学心を培うことを求めます。医学部医学科が望む学生を選抜するために、一般入試（前期日程）は、大学入試センター試験並びに個別学力審査及び面接試験により、総合的に合格者を決定します。

また、医学・生命科学に深い関心を持ち、真摯な姿勢、強い熱意を持って真理を探究し、世界の医学をリードする医学研究者としての資質・適性を持つ人材を求め、特色入試を実施します。高等学校での成績および英語能力において所定の基準を満たす学生を対象に、高等学校での取り組みや医学研究に対する考えに関する報告書等の提出書類並びに小論文試験及び面接試験により、合格者を決定します。

◎人間健康科学科

京都大学医学部人間健康科学科は、1899（明治32）年に設置された京都帝国大学医科大学附属医院看護婦見習講習科に始まり幾多の変遷を経て、数多くの医学・医療従事者を輩出してきました。その歴史と伝統を基盤とし、21世紀の医学・医療の発展を担う「人間健康科学（Human Health Sciences）」の確立を目指しています。

そこで、本学教育の基本理念のもと、自由の学風を継承し、人類の健康と福祉に貢献する高度医療専門職及び総合医療科学領域における世界トップレベルの独創的な学術研究をリードする人材の育成を使命とし、以下のような学生の入学を期待します。

【医学部人間健康科学科が望む学生像】

- ・未知へと挑戦する進取の気性に富む人
- ・真理を追求する情熱を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を備えている人
- ・優れた知識と技能及び思考力・判断力・表現力を持ち、自学自習のマインドを持つ人
- ・協調性に優れ、周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- ・将来、高度医療専門職、総合医療科学領域において、国内外の独創的な学術研究をリードする意欲のある人

数学と理科については、医学的、科学的な理解と、より高度な知識を学ぶために基礎となる学問であり、本学科では十分な理解が求められます。国語については、一般的に必要な基礎知識と論理的な考え方、表現力を

身につけるため、また、英語については、国際的に通用する情報を確実に得てグローバルに活躍するためのコミュニケーション能力の涵養が重要となります。したがって、入学する学生は高等学校においてそれぞれの科目を幅広く学習し、総合的な基礎学力と高度な教養を深めていることを期待します。

これらの学力を測るため、本学科では、数学・理科（物理・化学・生物のうちから2科目）・国語・英語の個別学力検査を実施するとともに、大学入試センター試験の点数を取り入れて、合格者を決定します。

また、将来のビジョンが明確にあり、その分野への関心が非常に高い優れた人材を求めするため、特色入試を導入し、高等学校における取り組みや活動、大学入学後の学習設計に関する書類選考と、論文試験並びに面接試験及び大学入試センター試験により、合格者を決定します。

◇薬学部

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。京都大学薬学部は、この薬学という学問の基礎体系を深化させ、創薬科学、医療薬学の教育・研究を通して薬学の進展と社会の発展に貢献することを目標としており、産官学における幅広い薬学関連分野でリーダーとなる人材を輩出してきました。

◎薬科学科

薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、将来、リーダーとして国際的に活躍することのできる人材を育成しています。そのために次のような人材を求めています。

- 1.高等学校等における学習・課外活動を通じ、十分な基礎学力と論理的・批判的思考力を有している人
- 2.豊かな人間性と高い倫理観を備え、協調性に優れ周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- 3.現在の状況を把握したうえで自ら目的を設定し挑戦できる行動力がある人
- 4.創薬に関心と興味を持ち、将来、創薬領域で世界をリードできる薬学研究者を目指している人

一般入試においては、大学入試センター試験および個別学力検査により基礎学力を評価して合否判定を行っています。とりわけ、数学と理科については、薬学的、科学的な事象を論理的に理解し、より高度な知識を学ぶために基礎となる学問であり、十分な学力を有していることが望まれます。国語については、文章を十分に読解し、自分の考えを論理的に構築し明快に表現する能力、また英語については、グローバルに活躍するためのコミュニケーション能力の基礎を身につけていることが重要となります。

また、創薬研究者となる確固たる将来設計を持ち、優れた才能を表す者を対象に実施する特色入試においては、高等学校における学業活動、志望動機・入学後の学修設計、大学入試センター試験および英語能力試験、論文試験、面接試験を総合して合格者を決定しています。

◎薬学科

薬学科では、医療薬学に関係する幅広い分野において、将来、医療薬学研究者のリーダーとして国際的に活躍することのできる人材、および高度な先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーとして社会に役立つ人材を育成しています。そのために次のような人材を求めています。

- 1.高等学校等における学習・課外活動を通じ、十分な基礎学力と論理的・批判的思考力を有している人
- 2.豊かな人間性と高い倫理観を備え、協調性に優れ周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- 3.現在の状況を把握したうえで自ら目的を設定し挑戦できる行動力がある人
- 4.先端医療・医療薬学に関心と興味を持ち、将来、医療薬学領域で世界をリードできる医療薬学研究者、および先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーを目指している人

一般入試においては、大学入試センター試験および個別学力検査により基礎学力を評価して合否判定を行っています。とりわけ、数学と理科については、薬学的、科学的な事象を論理的に理解し、より高度な知識を学

ぶために基礎となる学問であり、十分な学力を有していることが望めます。国語については、文章を十分に読解し、自分の考えを論理的に構築し明快に表現する能力、また英語については、グローバルに活躍するためのコミュニケーション能力の基礎を身につけていることが重要となります。

また、医療薬学研究者となる確固たる将来設計を持ち、優れた才能を表す者を対象に実施する特色入試においては、高等学校における学業活動、志望動機・入学後の学修設計、大学入試センター試験および英語能力試験、論文試験、面接試験を総合して合格者を決定しています。

◇工 学 部

京都大学工学部の教育の特徴は、京都大学の伝統である「自由の学風」の下で、「学問の基礎を重視する」ところにあります。「自由の学風」とは、既成概念にとらわれず、物事の本質を自分の目でしっかりと見るといことです。そこでは、学問に対する厳しさが要求され、それが、「学問の基礎を重視する」ことにつながります。一般的には「工学部は応用を主体とする学部である」と考えられています。「基礎を重視する」と言いますと、やや異質な印象を持たれるかもしれません。しかし、京都大学工学部では、「基礎となる学理をしっかりと学んでおくことが、将来の幅広い応用展開や技術の発展を可能とするための必須条件である」という理念の下に、この教育方針を採っています。

このような方針の教育を受けてもらうために、次のような入学者を求めています。

- 1.高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
- 2.既成概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと確かめ、得られた情報や知識を整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
- 3.日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身に着けるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
- 4.創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティーに満ちた人。

入学者選抜では、大学入試センター試験に加えて、数学・理科・英語・国語の基礎学力の評価に重点を置いて、個別学力検査および特色入試を実施し、上述の観点から多様な人材を評価・選抜しています。

なお、特色入試では、上記の基礎学力に加えて、特筆すべき理系の能力、および、責任感と倫理性を併せ持った人材を求めています。また、学科の求める学生像に依じて、調査書、推薦書、顕著な活動実績の概要、学びの設計書、大学入試センター試験の成績、口頭試問の中から必要項目を選択・組み合わせて、人物を評価しています。評価方法の比重等詳細については、募集要項に明記しています。

◎地球工学科が求める学生像

住みやすく豊かな都市と地域、安全に暮らせる国土、資源・エネルギーを基礎とした持続的文明、環境に配慮した地球社会を築いていくために、広く社会に役立つ土木工学、資源工学、環境工学を学びたい人を求めています。社会に貢献するための科学技術を学びたい人、多様な技術を集約して問題の解決をしたい人、国際的に活躍したい人、官・民・学の広い範囲から就職先を考えたい人に最適な学科です。地球工学科での専門教育を受ける上で十分な基礎学力と思考力を備えた人を求めます。

◎建築学科が求める学生像

人間生活に密接に係わる建築は、多様な技術を総合した創造的な努力によって作りだされます。このため、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学、さらには芸術にも深い関心をもつ学生を歓迎し、その才能を伸ばす教育を行います。建築家、建築技術者、研究者、建築・都市行政の担当者、各種事業に携わるプランナーなどを目指す人を求めます。

◎物理工学科が求める学生像

次世代の画期的な機械システム、新材料、エネルギーシステムを開発すること、宇宙空間への活動の場を拓けていくことに強い関心を持ち、これらの課題の実現に向け、古典物理学から近代物理学に到る幅広い物理学を基礎とした工学を学ぶ意欲を持つ人を求めます。物理工学科での専門教育を受ける上で十分な基礎学力と思考力を備えた人を求めます。

◎電気電子工学科が求める学生像

自然現象や科学技術，その人間生活との関わりなどに対して広い関心と旺盛な探究心をもつとともに，電気電子工学関連の学術分野へ強い興味を有し，専門教育を受けるのに十分な基礎学力と論理的思考力を備えた創造性豊かな入学者を求めます。

◎情報学科が求める学生像

高度情報社会における幅広い問題を情報学の知識と数理的思考により解決することに強い関心を持つ人を求めます。数学，物理学をはじめとする理科系科目に関する十分な基礎学力と論理的思考力に加えて，情報学が関係する人文・社会科学を含めた諸学問に対する興味を持つ人を求めます。

◎工業化学科が求める学生像

化学および工学に関連する工学のすばらしさを理解し，学習する志と意欲をもち，既成概念にとらわれずに物事を論理的に考え，さらに自ら問題を解決しようとする人を求めます。したがって，高等学校での学習内容をよく理解し，工業化学科での専門教育を受ける上で十分な基礎学力と能力を有している人を求めます。

◇農学部

農学部が望む学生像

農学は，生物学のみならず，化学，物理学，社会科学等の多様な基礎知識を必要とするいろいろな学問分野から成り立っています。21世紀の重要課題である「生命・食料・環境」に関わる様々なかつ複合的な問題に立ち向かっていくためには，特定の専門に偏らない広い視野に立った総合的な取り組みが必要です。本学部は，それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに，学科ごとに異なる高度な専門教育を実施することにより，国際的な広い視野と高度な専門知識をもち，高い倫理性と強い責任感をもち，主体的に行動でき，コミュニケーション能力に長けた多様で優れた人材を養成することを目的としています。したがって，各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲をもち，応用力と適応力，ならびに，それぞれの専門教育に必要な学力を有する学生を求めています。

その学力を測るため，一般入試では全学科共通で大学入試センター試験の得点に加え，国語・数学・理科（物理，化学，生物，地学から2科目）・外国語（英，独，仏，中から1科目）の個別学力検査を実施して入学者選抜を行っています（各検査の比重等，詳細については，一般入試選抜要項に明記しています）。また，各学科の示す人材を求めるために特色入試も行い，調査書，学業活動報告書，学びの設計書，大学入試センター試験の成績のほか，英語能力検定試験，小論文，口頭試問，面接試験を学科ごとに組み合わせて合否判定を行っています（各評価方法の比重等，詳細については，特色入試選抜要項に明記しています）。

◎資源生物科学科

農業，畜産業および水産業が抱える諸問題や生物学的諸現象に広く関心をもち，勉学意欲に富み，問題に対して幅広い視点から論理的に解決案を見だし得る人材を求めます。したがって，英語などの基礎科目について十分な素養を備えているとともに，とりわけ生物をはじめとする理科の科目に関して十分な学力を有していることが望まれます。このような学生を選抜するために，一般入試を行うとともに，明確な問題意識とそれを解決しようとする極めて高い意欲のある人を特色入試で選抜します。

◎応用生命科学科

生命科学，食料生産，環境保全に強い関心をもち，生命現象や生物の機能を化学的な視点によって解明・活用することに興味がある人を求めます。また，自分の考えをもつとともに異なる意見にも耳を傾けることができ，自分の考えをまわりのひとに的確に伝えることができる人が望まれます。その選抜にあたっては，筆記試験による一般入試の他に，未知の領域に好奇心をもって挑戦できる人材を選考する目的で特色入試を行います。

◎地域環境工学科

一般入試では，農業・農村問題や環境問題，人類への食料供給問題に強い関心をもち，これらの問題解決に向けた物理学・数学を基礎とした工学的・技術的な方法論を学ぶために必要な学力を有する学生を求めます。ただし，農業生産と密接な関係があることから，生物学や生命科学などにも強い関心をもつ学生が望まれます。特色入試では，食料・環境・農業などの分野において，高度な専門知識と工学的問題解決能力をもって社会の

リーダーとなるべき人材を求めます。特色入試において、具体的には大学入試センター試験による基礎学力とともに、小論文試験により問題解決能力、論理的思考力について、面接試験により意欲、適性および識見について評価します。

◎食料・環境経済学科

一般入試では、食料、環境、農林水産業等において生ずる様々な社会・経済問題に対して強い関心を持ち、幅広い観点から自身の力で論理的・実証的に問題の解決に向かって努力する人材を求めます。理科系科目に興味をもちつつ、経済学を基本としながらも、経営学、社会学、歴史学など人文・社会科学を積極的に勉学したい学生を望みます。特色入試では、一般入試によっては把握できない能力を有し、将来、高度な専門知識を持ち、食料、環境、農林水産分野の発展を主導できる可能性のある人材を求めます。

◎森林科学科

身近な生活空間から地球規模の環境問題までを視野に入れて、森林生態系の保全と活用、森林由来の生物資源の利用、森林と人間の共生などの課題に積極的にチャレンジする人材を求めます。一般選抜においては、応用力、適応力、科学的解析力などをバランスよく兼ね備えた人材を重視します。特色入試では、森林科学の立場から社会に貢献するための高度な専門知識と問題解決能力を習得する強い意欲と能力のある人材を望みます。

◎食品生物科学科

食の観点から、「生命・食料・環境」に関わる課題を包括的に取り組み、科学的に解決する人材を求めています。具体的には、食に関わる幅広い問題に関心をもつとともに、生化学、有機化学、物理化学および分子生物学を基盤とする生命科学はもとより、人と社会に関わる哲学、経済学など人文・社会科学の基礎科目を学ぶ意欲を持ち、これらの学問的背景のもとに、本学科の学理を修得し、将来、産・官・学の各分野において、食品生産工学、食品生命科学および食品健康科学に関わる創造的な研究ならびに開発・生産活動を、強い責任感および高い倫理性とリーダーシップをもって実行できる人材を求めています。その選抜にあたっては、筆記試験による一般入試の他に、国際的に活躍できる人材を選考する目的で、口頭試問を含む特色入試を行います。

2. 法学部後期日程（特色入試）

I 入学定員・募集方法等

1. 入学定員・募集人員

特色入試（法学部を除く）において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程の募集人員に加えます。

募集人員 学部・学科		入学定員	募集区分		
			前期日程	後期日程	その他の選抜方法
総合人間学部		120	文系 62 理系 53		特色入試：5人
文学部		220	210		特色入試：10人
教育学部		60	文系 44 理系 10		特色入試：6人
法学部		330	310 <small>(外国学校出身者のための選考10人以内含む)</small>	20 <small>(後期日程の募集は特色入試として行う)</small>	外国学校出身者のための選考：10人以内
経済学部		240	文系 190 <small>(外国学校出身者のための選考10人以内含む)</small> 理系 25		特色入試：25人 外国学校出身者のための選考：10人以内
理学部		311	306		特色入試：5人
医学部	医学科※3	105	100		特色入試：5人
	人間健康科学科	100	70		【先端看護科学コース】 特色入試：20人 【先端リハビリテーション科学コース (理学療法学講座)】 特色入試：5人 【先端リハビリテーション科学コース (作業療法学講座)】 特色入試：5人
	計	205	170		
薬学部※1	薬科学科・薬学科	80	74		【薬科学科】 特色入試：3人 【薬学科】 特色入試：3人
工学部※2	地球工学科	955	928 <small>(別表2のとおり)</small>		【地球工学科】 特色入試：3人 国際コースのための選考：30人以内 【建築学科】 特色入試：2人 【物理工学科】 特色入試：5人 【電気電子工学科】 特色入試：7人 【情報学科】 特色入試：3人 【工業化学科】 特色入試：7人
	建築工学科				
	物理工学科				
	電気電子工学科				
	情報学科				
工業化学科					
農学部※2	資源生物科学科	300	281 <small>(別表3のとおり)</small>		【資源生物科学科】 特色入試：3人 【応用生命科学科】 特色入試：4人 【地域環境工学科】 特色入試：3人 【食料・環境経済学科】 特色入試：3人 【森林科学科】 特色入試：3人 【食品生物科学科】 特色入試：3人
	応用生命科学科				
	地域環境工学科				
	食料・環境経済学科				
	森林科学科				
食品生物科学科					
合計		2,821	2,663	20	

※1 薬学部の学科振り分けは、本人の志望や学業成績等に基づいて、別表1のとおり4年次進級時に行われます。

学部・学科等		学科振り分け定員
薬学部	薬科学科	65 (特色入試入学者3名を含む)
	薬学科	15 (特色入試入学者3名を含む)

※3 医学部医学科の入学定員は、平成31年度まで臨時的に増員（105名から107名）が認められていました。引き続き、2名の増員を認可申請中であり、認可された場合は、改めて本学ウェブサイト等で募集人員について周知します。

※2 工学部と農学部は、別表2と別表3のとおり、受入学生数を目安として学科別に合格者を決定します。

学部・学科等		受入学生数（目安）
工学部	地球工学科	182 <small>(国際コースのための選考30人以内含む)</small>
	建築学科	78
	物理工学科	230
	電気電子工学科	123
	情報学科	87
	工業化学科	228

工学部は学科を第2志望まで選択することができます。

学部・学科等		受入学生数（目安）
農学部	資源生物科学科	91
	応用生命科学科	43
	地域環境工学科	34
	食料・環境経済学科	29
	森林科学科	54
	食品生物科学科	30

農学部は学科を第6志望まで選択することができます。

2. 試験実施方式・日程

- (1) 本学は、分離分割方式による前期・後期日程（特色入試）で試験を実施します。
- (2) 志願者は、分離分割方式の「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。
- (3) 前期日程で大学・学部合格し、令和2年3月15日までに入学手続きを行った者は、後期日程の試験を受験しても合格者となりません。
- (4) 本学も含め全ての国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）の推薦入試又はAO入試合格者は、当該推薦入試又はAO入試を実施する大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学個別学力検査等を受験しても合格者となりません。
※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学については、公立大学協会 Web サイトを参照のこと。（<http://www.kodaikyo.org/>）
- (5) 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。
- (6) 主な日程

インターネット出願登録・ 入学検定料納入期間	令和2年1月20日（月）～2月5日（水）
出願書類受理期間	令和2年1月27日（月）～2月5日（水）
第1次選考合格者発表日	2月28日（金）送付予定
試験実施日	3月12日（木）
合格発表	3月24日（火）正午
入学手続	3月27日（金）午後5時 必着

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

3. 募集方法及び合格者の決定方法等

法学部は、「前期日程」及び「後期日程（特色入試）」に分けて募集し、合格者を決定します。

II 出願資格

次のいずれかに該当する者で、令和2年度大学入試センター試験において受験を課す教科・科目（54ページに記載した法学部特色入試の「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄参照）のすべてを受験した者。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号—大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定—）
7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの（下記【個別入学資格審査の申請方法等】参照）

【個別入学資格審査の申請方法等】

上記の出願資格8. により出願を希望する者は、事前に個別の入学資格審査を申請してください。審査の結果、資格を認定された場合のみ出願が認められます。

なお、出願資格1.～7.により出願を希望する者は、入学資格審査を申請する必要はありません。

1. 入学資格認定の申請対象者

出願資格8. として申請可能な者は、学校教育法施行規則第150条第7号に該当する者で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する又は有する見込みのものです。ただし、令和2年度大学入試センター試験を受験した者に限ります。

2. 申請書類

- ① 入学資格認定申請書（本学所定の様式）
- ② 出身教育施設の修了（又は修了見込み）証明書
- ③ 出身教育施設の規則等
- ④ 出身教育施設のカリキュラム（修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）
- ⑤ 返信用封筒〔長形3号封筒に申請者の住所・氏名を明記して、809円分（書留速達料金）の切手貼付〕

3. 申請受理期間

令和2年1月20日（月）から1月22日（水）まで。

上記期間内に「書留速達郵便」にて「入学資格認定申請書類在中」と朱書き、郵送（期限内必着）してください。なお、提出された書類は一切返却しません。

4. 審査方法

申請者から提出された入学資格認定申請書及び出身教育施設の修了（又は修了見込み）証明書等に基づき審査します。

5. 認定基準

認定の基準は、専修学校高等課程の修了者に入学資格を認める基準を準用し、各教科の修得単位数等について、原則として次に掲げる条件を満たした教育を行う施設で当該教育を修了していること、又は修了する見込みであること。

※単位については、1単位時間を50分とする。

- (1) 修了に必要な総単位時間数は、2,590単位時間以上とする。
- (2) 修了に必要な普通教科の総単位時間数は、420単位時間以上とする。
普通教科は国語（日本語）、地理歴史、公民、数学、理科、外国語とする。
- (3) 前項の教科以外の履修が、前項の教科と同様の成果が期待できる場合においては、その教科の履修をもって、前項の教科の一部又は全部に替えることができる。

6. 認定について

審査の結果、入学資格認定者には認定書を交付します。認定書を一度交付された場合、再度申請する必要はありません。

7. 提出先・照会先 ※ 申請予定者は申請前に必ず連絡してください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育推進・学生支援部入試企画課 TEL：075-753-2521

Ⅲ 入学者選抜方法等

提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。
なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。

1. 第1次選考

第1次選考は、大学入試センター試験及び調査書の成績により選考を行い、募集人員の15.0倍程度を目安として合格者を決定します。

【第1次選考合格者発表】

第1次選考結果の発表は、掲示にはよらず、次の方法により志願者に通知します。

- ①第1次選考合格者には第2次選考の受験票を送付します。不合格者には不合格通知書を送付します。
- ②第1次選考結果の通知は、2月28日(金)頃に法学部から発送の予定です。なお、3月6日(金)を過ぎてても到着しないときは、法学部の教務担当(81ページ参照)へ問い合わせてください。

2. 第2次選考

(1) 入試方法

第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験及び小論文試験の成績により選考を行います。

(2) 第2次選考の実施場所

第2次選考は、吉田キャンパス(京都市左京区)で行う予定です(場所等は80ページ参照)。
第2次選考の実施場所、経路の詳細は、受験票発送時にお知らせします。

※ 本学では、志願者に対する宿泊施設等のあっせんは行っておりません。
なお、京都大学生活協同組合において宿泊案内を行っております。

Web サイト：<http://www.s-coop.net/>

(3) 第2次選考実施期日・時間

第2次選考実施期日・時間は、次ページのとおりです。追試験は実施しません。

(4) 入学者選抜の実施教科・科目等

入学者選抜の実施教科・科目等は、54ページのとおりです。

なお、大学入試センター試験の教科・科目名は、以下のように略しています。

国語→国、地理歴史→地歴、世界史B→世B、日本史B→日B、「倫理、政治・経済」→「倫、政経」
数学→数、数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅲ→数Ⅲ、数学A→数A、数学B→数B
理科→理、物理基礎→物基、化学基礎→化基、生物基礎→生基、地学基礎→地基
外国語→外、英語→英、ドイツ語→独、フランス語→仏、中国語→中、韓国語→韓

個別学力検査等実施期日・時間

学 部	日程等	2月25日(火)				2月26日(水)				2月27日(木)		3月12日(木)	
		教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間	教科等	時間
総合人間 学 部	文系	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
	理系	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分				
文 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
教育学部	文系	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
	理系	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科 (1科目)	15時00分 ～ 16時30分				
法学部	前期	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
	後期												
経済学部	文系	国 語	9時30分 ～ 11時30分	数 学	13時30分 ～ 15時30分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	地理歴史	13時30分 ～ 15時00分				
	理系	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分						
理 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分				
医 学 部	医 学 科	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分	面 接	9時00分 ～ 17時30分		
	人間健康 科 学 科	国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分				
薬 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分				
工 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語 (英語のみ)	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分				
農 学 部		国 語	9時30分 ～ 11時00分	数 学	13時30分 ～ 16時00分	外国語	9時30分 ～ 11時30分	理 科	13時30分 ～ 16時30分				

【法学部 特色入試】（後期日程）

◆求める人物像

法学部の特色入試（後期日程）では、特に次に掲げる能力及び資質等を備える人材を求めています。

- 様々な分野で、多様な人々と協働し、指導的な役割を果たす基盤とするため、多様な考え方を理解し、論拠を示して自らの意見を述べることができる基本的なコミュニケーション能力、とりわけ論理的な文章を書く力の基本を身につけていること
- グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有すること
- 人々が協働し共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること

◇募集人員20人

募集区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		能力測定考査			大学入試センター試験・能力測定考査の配点等								
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1次選考	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
後期 (特色入試)	国	国語	その他	小論文	後期募集人員の約15.0倍	センター試験	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)			270 (900)
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2				能力測定考査							100	100
	公民	「倫, 政経」 (※注1 1.参照)												
	数	「数I・数A」, 「数II・数B」												
理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 (※注1 2.参照)													
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科8科目) または (6教科8科目)													
						計								370

※合格者は、第1次選考に合格した者について、大学入試センター試験の成績（合計の900点満点を270点満点に換算）及び小論文試験の成績（100点満点）により決定します。

※別途公表している「特色入試学生募集要項」も併せて確認してください。

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

1. 「地理歴史, 公民」について、「世界史B」と「日本史B」のうちの少なくとも1科目が含まれるように、2科目を選択してください。
2. 「理科」について、「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。

3. 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。

英語 250 点満点（筆記 200 点満点，リスニング 50 点満点）を第 1 次選考においては 200 点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を 0 点として取り扱います。

なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記 200 点満点で第 1 次選考を行います。

（注 2）「能力測定考査」について

1. 「小論文」について

小論文試験は，日本語と英語の文章を題材に，読解力，論理的思考力，表現力などについて評価します。

2. 第 1 次選考について

第 1 次選考は，大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし，英語は 250 点満点を 200 点満点に換算）の合計，調査書の成績により選考を行い，募集人員の 15.0 倍程度を目安として合格者を決定します。

Ⅳ 出 願 手 続

出願手続は、出願書類受理期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。不備のないよう注意してください。

1. 出願手順

(1) 事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン等の準備
ご家庭にない場合は、学校や図書館など自宅外のパソコンからも出願できます。
- ②プリンタの準備
インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷するために必要です。
- ③必要書類の準備（58ページ [3. 出願に要する書類等] 参照）
- ④角形2号（角2）封筒（240mm×332mm）の準備
出願に必要な書類を送付するため、市販の角形2号（角2）封筒を準備してください。

(2) インターネット出願システムに登録する（1月公開予定）

インターネット出願システムのページには、京都大学特色入試Webサイトからアクセスできます。<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

(3) 出願登録

画面の案内に従って、志望情報、志願者個人情報を入力します。

(4) 出願内容の確認

登録した内容を確認してください。内容に間違いがある場合は、「修正する」ボタンを押して修正してください。

(5) 入学検定料等納入方法の選択（決済情報入力）

画面の指示に従って、入学検定料等の納入方法を選択してください。納入方法として「クレジットカードで支払う」もしくは「コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで支払う」のどちらかを選択できます。

※出願登録の際に必要な料金は以下のとおりとなります。

- ①入学検定料（17,000円）
- ②受験票等送付料（384円）
- ③試験成績送付料（498円）※希望者のみ。詳細は60ページ参照。

以上①～③の料金の他に支払い手数料*が必要となります。

*最終的な料金はインターネット出願システム画面で確認してください。なお、今年度の料金は650円を予定しています。

※出願書類を受理した後は、57ページ[※検定料の返還について]のA、イに該当する場合を除き、いかなる理由があっても納入済みの入学検定料は返金しませんので注意してください。

※入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。

(6) 宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷する

出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷してください。

(7) 必要書類の郵送

宛名ラベルを貼り付けた封筒に必要書類を封入し、必ず、書留の速達便で郵送してください。
なお、いかなる理由があっても持参による出願は、一切受け付けませんのでご注意ください。

2. 入学検定料等の納入方法等

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

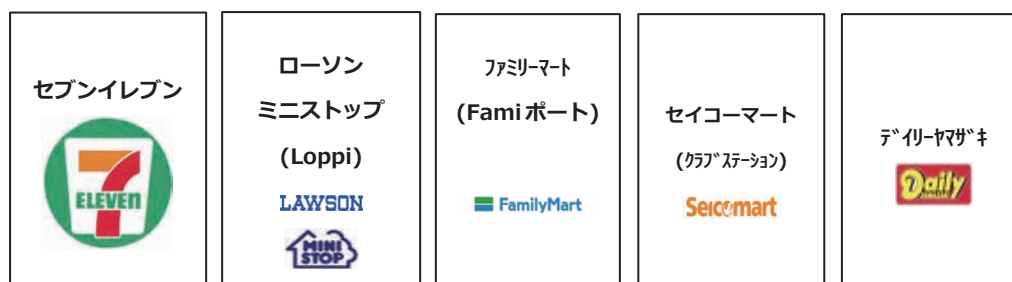
詳しい支払い方法については、出願をする際に、インターネット出願システム上の「入学検定料の支払方法について」の項目を確認してください。

①クレジットカード

クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。お支払いされるカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。

②コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。以下のコンビニで支払いが可能です。



③金融機関 ATM 【Pay-easy】

金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。支払い可能金融機関は、下記ページの「ATM 利用可能一覧」を確認してください。

http://www.well-net.jp/multi/financial_list/index.html

④ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

※検定料の返還について

ア. 第 1 次選考不合格者及び出願無資格者

検定料の一部（13,000 円）を返還します。不合格通知書又は出願無資格通知書を送付する際に、返還手続方法について連絡します。

イ. 検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合および誤って二重に納入した場合

検定料の全額（17,000 円）及び受験票等送付料（384 円）を返還します。検定料の返還を希望する旨を明記のうえ、①志願者氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤検定料の納入方法 ⑥納入した金融機関名及び支店名又はコンビニエンスストア名及び店名を、下記までファックスにてお知らせください。記載の住所へ返還手続書類を郵送しますので、それに従って手続をしてください。

ウ. 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

TEL : 075-753-2521 FAX : 075-753-2565

以下の災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、入試企画課（TEL：075-753-2521）へお問い合わせください。

①平成23年3月に発生した東日本大震災、②平成28年4月に発生した熊本地震、③平成30年7月豪雨、④平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震、⑤令和元年10月に発生した台風第19号

3. 出願に要する書類等

市販の封筒（角2サイズ 240mm×332mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての必要書類を封入し郵送してください。

① 志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。なお、以下の点に留意して提出ください。 【志願票】 必ず、所定の欄の枠内に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」「後国公立後期日程用」を貼り付けてください。（成績請求票を提出しない場合は、受験者としての権利を失いますので注意してください。） 【写真票】 上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を枠内に貼り付けてください。 *おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚を準備しておいてください。
② 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 また、全体の評定平均値に基づいて、学科・コースごとの志願者の学年における順位を備考欄に記載してください。 （出願者は必ず順位の記載があるか調査書作成者に確認してください。） 順位の記載が無い場合は出身高校に再提出を依頼します。 *調査書が得られない場合は、59ページに記載の【調査書に代えることができる書類について】を参照してください。
③ 入学資格認定書（写） （該当者のみ）	51ページの「Ⅱ 出願資格 8.」により、本学に入学資格認定の申請をし、認定を受けた者は、本学交付の入学資格認定書の写しを必ず提出してください。

【調査書について】

調査書には、上記②にあるとおり、全体の評定平均値に基づいて、学科・コースごとの志願者の学年における順位を備考欄に記載してください。（出願者は必ず順位の記載があるか調査書作成者に確認してください）もし、順位の記載が無い場合は出身高校に再提出を依頼します。

【調査書に代えることができる書類について】

- (1) 指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、「卒業証明書及び成績証明書」を提出してください。成績証明書等を提出できない場合は、「卒業証明書」に加えて学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。
- (2) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）合格者は、「合格成績証明書」（合格証明書は不要）を提出してください。ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、免除された科目の高等学校等の調査書又は「成績証明書」を添えてください。
- (3) 上記（1）および（2）以外の者は、「修了証明書（資格証明書）及び成績証明書」を提出してください。

【注意事項】

- (1) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- (2) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
- (3) 出願書類の受理後は、出願書類を返却しません。
- (4) 現在、大学等に在学している者は、受験に際して受験許可書や退学証明書は必要ありません。ただし、本学に入学する際は、3月31日までに退学し、法学部教務掛（81ページ参照）に退学証明書を速やかに提出してください。

4. 出願期間および入学検定料納入期間

インターネット出願の登録期間および入学検定料納入期間
令和2年1月20日（月）午前10時から2月5日（水）午後5時まで

出願書類受理期間
令和2年1月27日（月）から2月5日（水）午後5時（必着）まで

インターネット出願登録期間および入学検定料納入期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類受理期間中に書類が本学に到着していなければなりません。（持参不可）

※ただし、出願書類については2月1日（土）以前の発信局消印のある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

5. 出願状況の情報提供

- (1) 出願状況について、下記の期間中本学 Web サイト (<http://www.kyoto-u.ac.jp>) 上に情報提供を行います。（令和2年1月27日（月）午後7時から）
- (2) 個別の出願書類の配達状況について、本学では対応いたしかねますので、日本郵便の追跡サービス (<http://www.post.japanpost.jp/index.html>) をご利用ください。

6. 受験票の送付

「受験票」及び「受験上の諸注意」等の発送は令和2年2月28日（金）頃を予定しています。なお、第1次選考不合格者には不合格通知書を、出願無資格者には出願無資格通知書を送付します。3月5日（木）を過ぎても通知が届かない場合は法学部教務掛（81ページ参照）へ問い合わせてください。

V 入試情報開示

本学では、試験成績、調査票について受験者本人からの請求があれば、以下のとおり開示します。

個人情報保護の観点から、代理人による開示申請は、理由の如何を問わず受け付けません。

【試験成績】

令和2年度入試の試験成績の開示を希望する者は、インターネット出願システムで試験成績送付を申し込んでください。（送付料として498円が必要です。）令和2年5月上旬に書留郵便（親展）で送付します。

開示する試験成績は、大学入試センター試験と法学部における小論文試験の得点です。参考として満点、合格者の最高点、最低点及び平均点を記載しています。

また、第2次選考の受験者本人に限り、令和2年7月1日（水）から令和2年11月30日（月）の間に、法学部の教務担当事務室（場所は80ページ参照）において試験成績を開示します（第2次選考の受験票、または本人確認ができるものを持参してください）。

※試験成績送付申し込み者のうち第1次選考不合格者及び出願無資格者に対しては、試験成績送付料（498円）を返還します。不合格通知書等を送付する際に、返還方法についてもあわせてお知らせします。

【調査書】

令和2年度入試の調査書の開示を希望する者は、令和2年7月1日（水）から令和2年11月30日（月）までの間に、法学部の教務担当事務室で申請してください。申請後1週間以内に調査書の閲覧が法学部の教務担当事務室で可能になります。申請・閲覧ともに第2次選考の受験者本人に限りますので、第2次選考の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。

なお、開示する調査書の内容は、不開示情報（「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄）を除いた部分となります。

《注意事項》

試験成績・調査書共に、遠方に居住しているため、直接本学に出向くことが困難な方については、郵送にて請求を受け付けますので、必ず法学部の教務担当事務室に連絡したうえ請求してください。

Ⅵ 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本学では、障害等のある受験希望者からの入学試験における合理的配慮の提供に関する相談を常時受け付けています。下の様式を用いて、法学部の教務掛へ連絡してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、原則として12月末までに連絡してください。また、不慮の事故等で1月以降に相談が必要となった場合も、できるだけ早くに法学部の教務掛へ連絡してください。

(様式) A4 判縦	令和 年 月 日
京都大学〇〇学部長 殿	
氏名（ふりがな）・性別・生年月日 連絡先（住所・電話番号・メールアドレス等） 出身学校名・卒業/卒業見込み年月（高卒認定の場合、 認定試験合格/合格見込み年月） 試験当日の保護者等緊急連絡先（電話番号）	
京都大学〇〇学部に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談を希望します。	
記	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 志望する学部・学科，受験科目 2. 障害等の種類，程度 3. 受験上希望する配慮事項 4. 添付書類 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書 ・大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書（写）（通知を受けている者） ・その他，相談する際に必要と思われる参考資料 例）障害者手帳（写），検査結果（写），これまでの教育機関における配慮事項，日常生活の状況 など 	

※本学では、受験上の配慮とともに、修学上の配慮に関する相談も受け付けています。修学上の配慮について、受験上の配慮とあわせて相談する場合は、希望する配慮事項を別紙（A4判縦，様式自由）に記載して，上記様式に添付してください。修学上の配慮に関する相談は，合格発表後あるいは入学後でも構いませんが，対応に時間を要することがありますので，できるだけ早くに法学部の教務掛に連絡してください。

※個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

Ⅶ 受験に関する注意事項等

1. 受験に関する注意事項等は、第2次選考の前日午後、法学部において掲示しますので、必ず確認しておいてください。
2. 第2次選考前日及び当日の自動車、バイク等での試験場構内への乗入を禁止します。
3. 第2次選考当日は、**第2次選考の受験票及び大学入試センター試験の受験票を必ず持参してください。**（入学手続の際にも両方の受験票が必要になります。）
4. 第2次選考当日は、法学部の指示する時刻及び場所に集合してください。集合時刻・場所については、受験票送付時に別途通知します。
5. 試験開始時刻に遅れた場合は、試験開始後30分以内に限り入室を認めます。
6. 第2次選考において使用を認めるものは、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、芯ケースは、かばんにしまうこと）・鉛筆キャップ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）・消しゴム・ハンカチ（漢字、英文字や地図等がプリントされていないもの）・ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）に限ります。※定規等の補助具は使用できません。
また、座布団・ひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む）・カイロで漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。
健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
なお、時計（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）は試験室に入る前にかばんにしまっておいてください。各試験室に電波時計を設置していますので、試験時間の確認は可能です。
7. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまっておいてください。試験時間中に身につけている場合、不正行為と見なすことがありますので注意してください。これらを時計として使用することはできません。
8. 試験時間中に監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
9. 不正行為等（★「不正行為等の取り扱い」参照）の理由で退場を命じられた者は、受験資格を失います。
10. その他受験に関する問い合わせは、法学部の教務担当（81ページ参照）に照会してください。

詐欺まがいの行為に注意してください！

例年、試験場周辺において本学関係者を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

本学関係者が受験者の個人情報聞き出し、現金を要求することは一切ありません。

★ 不正行為等の取り扱い

- ① 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退場を命じられ〔不正行為失格〕となります。〔不正行為失格〕が命じられた場合は、受験資格を失うこととなります。

ア. 受験票に本人以外の写真が貼ってあった場合や解答冊子に本人以外の名前や受験番号を記入した場合。
 イ. カンニング（カンニングペーパー・教科書・辞書及び参考書類の使用，他の人から答えを教わることなど）を行うこと。
 ウ. 他の受験者に答えを教えたり，解答冊子の交換等により，カンニングの手助けを行うこと。
 エ. 試験時間中に，問題冊子・解答冊子・下書き用紙を試験室から持ち出すこと。
 オ. 『解答を始めなさい。』の指示前に，問題冊子を開いたり，解答を始めること。
 カ. 試験時間中に，スマートウォッチ等のウェアラブル端末・携帯電話・スマートフォン・電子辞書等の電子機器類を使用すること。
 キ. 試験時間中に，定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すること。
 ク. 『解答をやめなさい。』の指示に従わず，解答を続けること。

- ② 上記①以外にも，次の行為を行うと不正行為となることがあり，場合によっては，文書により警告します。不正行為と見なされた場合の取り扱いは上記①の場合と同じです。

ア. 試験時間中に，時計（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）・携帯電話・スマートフォン・電子辞書等の電子機器類や定規・コンパス・電卓等の補助具をかばん等にしまわず，机の上に置いたり，身につけていたり，手に持っていること。
 イ. 解答冊子の見せ合い，話し合い，のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。
 ウ. 試験時間中に，長い間，机の下に手を入れたり，服のポケット等に手を入れたりすること。

- ③ 次の行為を行うと試験妨害と見なされ，その場で試験の中止と退場を命じられ〔退場命令失格〕となります。〔退場命令失格〕が命じられた場合は，受験資格を失うこととなります。

ア. 監督者の指示に従わず，他の受験者に迷惑となる行為を繰り返すこと。
 イ. その他，試験の公平な実施を損なうおそれのある行為をすること。

Ⅷ 合格者発表

合格者の発表は、次の日時・場所において、合格者の受験番号を掲示します。


発 表 日	時 間	場 所
令和2年3月24日（火）	正 午	法学部の掲示場
掲 示 期 間		
令和2年3月24日（火）正午～3月30日（月）午後5時		

※ 受験者への合否の通知等はいりません。また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

なお、合格者へは、入学手続に関する案内等を合格発表日（3月24日）に本学から発送予定です。

◎ 京都大学入試情報 Web サイトにおける発表について

合格者受験番号を京都大学入試情報 Web サイトにおいて、合格者発表日の正午に掲載します。

携帯電話・パソコン 共通アドレス	
https://daigakuic.jp/kyoto-u/	
掲載期間	
令和2年3月24日（火）正午～3月30日（月）午後5時	

Ⅸ 入学手続

入学手続は、「1. 入学手続に必要なもの」を期限までに、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により書留速達で郵送してください。所定の期限までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

1. 入学手続に必要なもの

(1) 入学料振込金受付証明書 <入学料 282,000円（予定）>

（注）受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。

(2) 大学入試センター試験受験票

(3) 本学受験票

(4) 学籍登録シート

（注）受験票送付時に同封する「学籍登録シート」に写真※を貼付し、氏名等の修正の有無を記入してください。

「大学入試センター試験受験票」記載の「氏名・フリガナ・生年月日」を学籍情報として登録し、学生証を作成しますので、氏名等を必ず確認し、その記載に間違い等がある場合は、それを訂正してください。訂正がない場合は、「訂正無し」欄にチェックを入れてください。

※ 写真について

- ・サイズは縦3cm×横2.4cm、脱帽正面向きで3か月以内に撮影したもの。光沢仕上げ（絹目仕上げは不可）。
- ・裏面に氏名、合格した学部名及び能力測定考査の受験番号を記入してください。
- ・写真は学生証に印刷され、在学期間中（4年間）使用しますので、高等学校等の制服着用のものは避けてください。写真を変更するために学生証を再作成する場合は有料となります。

【入学料等について】

- ア. 入学料は、受験票郵送時に同封する本学所定の「振込依頼書」により、合格者発表後から入学
 手続時まで金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局は除く）の窓口で納入してください。振込の際、
 収納印の押された「振込金受付証明書」を受け取り、受験票送付時に同封する「振込金受付証明
 書貼付台紙」に貼付し、郵送してください。
- イ. 納入した入学料は、返還しません。ただし、所定の入学手続期間内に入学辞退を申し出た者
 についてはこの限りではありません。
- ウ. 授業料は、入学後に口座振替により納入いただきます。（引落時期：5月27日、11月27日）
 ※27日が土日祝日の場合はその翌営業日が振替日となります。
 <令和2年度前期分授業料 267,900円（予定）>
 ※授業料は入学時及び在学中に改定されることがあります。
 ※口座振替のお申込みが間に合わないなどの事情により、口座振替による納入ができない学生
 にのみ「振込依頼書」を5月20日頃にお送りいたしますので、当該依頼書をご利用ください。
- エ. 入学料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、73ページ「Ⅲ. 修学案内」を参照し
 てください。入学料を納入すると申請できませんので注意してください。

2. 入学手続方法

(1) 郵送締切日時

令和2年3月27日（金） 午後5時必着

ただし、上記締切日時までに手続ができない場合は、法学部の教務担当（81ページ参照）へ締切
 日時までに連絡して、指示に従ってください。

(2) 郵送先・郵送方法

宛先は法学部の教務担当とし、64ページの「1. 入学手続に必要なもの」をすべて同封し、京都
 大学一般入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、必ず書留速達と
 して郵送してください。

※ 配達状況については、日本郵便の追跡サービス (<https://www.post.japanpost.jp/index.html>)
 を利用して確認することができます。

(3) 注意事項等

入学手続が完了後、「大学入試センター試験受験票」、「本学受験票」、「入学許可書」、「入学案内-授
 業開始までの手続と行事-」等の書類を3月28日（土）までに発送します。3月31日（火）を過
 ぎても書類が届かない場合は、4月1日（水）に法学部の教務担当（81ページ参照）へ問い合わせ
 てください。

3. 入学辞退手続

合格者であって、本学への入学の意思がなく、入学を辞退しようとする者は、3月27日（金）午後
 5時までに法学部の教務担当（81ページ参照）へ申し出るとともに、入学を辞退する旨を明記のうえ、
 ①合格者氏名 ②受験番号 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号をファックスにてお知らせください。な
 お、ファックス番号は申し出の際にお知らせします。

入学を辞退した者は、本学への入学手続を行うことはできません。

4. 入学手続上の諸注意

本学を含め1つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）に入学手
 続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。また、本学に入学手続を完了した者は、
 これを取り消して他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）に入学手続
 することはできません。※ 公立大学協会 Web サイト (<http://www.kodaikyo.org>) 参照のこと。

X 追加合格

追加合格を行う場合は、追加合格候補者に対し、3月28日（土）から3月31日（火）までの間に、法学部から志願票に記載の連絡場所へ通知します。

ただし、本学から追加合格候補者として通知を受けた者であっても、既に他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く）で入学手を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格者の入学手続は、次のとおり行います。

1. 入学手続日 法学部から指示します。
2. 入学手続場所 法学部の事務室
3. 入学手続に必要なもの 「Ⅹ 入学手続 1. 入学手続に必要なもの」と同様です。

入学料・授業料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、入学手続の際にその旨伝えてください。

XI 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

1. 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1. 及び2. の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。

したがって、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付いたします。
5. 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

3. 一般項目

I 京都大学の教養・共通教育について

京都大学の教育体系は、教養・共通教育と専門教育（※）により構成されています。専門教育はそれぞれの学部で実施されます。これに対して教養・共通教育は全学部の学生を対象に国際高等教育院が実施しています。

本学の教育として教養・共通教育を行っている目的は、第一に自分の選んだ専門分野以外の学問に触れ、多様な問題関心や学問的方法論を理解することであり、第二に専門教育の課程で必要とされる基礎的な学力や知識・技能を習得することが挙げられます。また、国際化した社会において学問研究に従事し、あるいは、社会の様々な分野で活躍するために、第三の目的として、しっかりとした国際的視点とともに、十分なコミュニケーション能力を身につけることが挙げられます。特に英語学習については、国際高等教育院附属国際学術言語教育センター（i-ARRC）の教員がサポートしています。

どの学部に入学した場合も、教養・共通教育として「全学共通科目」の履修が求められます。専門教育の前に、もしくは専門教育と並行しながら、まず「全学共通科目」を学ぶこととなります。

全学共通科目の詳細については、国際高等教育院 Web サイト（<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/zenkyo>）をご覧ください。

なお、国際高等教育院では、自らの英語能力に関して自覚を促すために、学部新入生を対象として、英語能力試験（TOEFL ITP）を実施します。外国語として英語を選択した新入生は、1 回生の間に 2 回、TOEFL ITP 試験を受験することとなります。2 回目の試験の成績は、1 回生後期に配当される科目「英語ライティングーリスニング B」の成績評価の一部としても利用します。

また、国際高等教育院では、さまざまな科目でコンピュータの活用を求めていることや、Web を用いたオンラインシステムの利用が手続き等で必要なことから、入学者に対して、学習用ノートパソコンの保有を推奨します。それに際して、大学での学習に適したノートパソコンの仕様も示しています。

※ 専門教育とは、各分野の専門的知識や学問の方法を身につけることを目的として各学部が実施するものであり、その教育課程は、各学部の理念と教育方針に基づき決定されています。

Ⅱ 過去3年間の入学試験結果の概要

※入学試験結果の詳細については、京都大学ホームページ (<http://www.kyoto-u.ac.jp/>) を参照してください。

「ホーム」>「入試・高大連携」>「一般入試」>「入学者選抜実施状況」

平成31年度

			募集人員	受入予定数 (目安)	志願者数	第1段階選抜 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	追加合格者数	入学者数	
総合人間 学 部	前期		115		417	394	387	118	0	0	118	
		文系	62		240	217	215	63	0	0	63	
		理系	53		177	177	172	55	0	0	55	
文学部	前期		210		728	727	710	213	1	0	212	
教育学部	前期		54		206	189	188	55	0	0	55	
		文系	44		169	154	153	44	0	0	44	
		理系	10		37	35	35	11	0	0	11	
法学部	前期		300		773	773	759	311	0	0	311	
経済学部	前期		208		662	640	623	218	0	0	218	
		文系	183		519	519	503	193	0	0	193	
		理系	25		143	121	120	25	0	0	25	
理学部	前期		306		820	806	800	313	3	0	310	
医学部	前期		174		526	519	490	182	2	0	180	
		医学科	103		298	291	280	105	0	0	105	
		人間健康科学科	71		228	228	210	77	2	0	75	
薬学部	前期		79		182	182	176	83	0	0	83	
工学部 ※1	前期		939		2,435	2,434	2,391	937	1	0	936	
		地球工学科		183		313	313	—	175	0	0	※2 175
		建築学科		79		272	272	—	80	0	0	80
		物理工学科		231		725	725	—	232	0	0	232
		電気電子工学科		126		357	356	—	128	0	0	128
		情報学科		89		377	377	—	90	0	0	90
		工業化学科		231		391	391	—	232	1	0	231
農学部	前期		284		762	762	741	292	1	0	291	
		資源生物科学科		91		—	—	—	93	0	0	93
		応用生命科学科		44		—	—	—	44	0	0	44
		地域環境工学科		35		—	—	—	38	0	0	38
		食料・環境経済学科		29		—	—	—	31	0	0	31
		森林科学科		54		—	—	—	54	1	0	53
		食品生物科学科		31		—	—	—	32	0	0	32
計			2,669		7,511	7,426	7,265	2,722	8	0	2,714	

※1 工学部の学科別志願者数および第1段階選抜合格者数は、第1志望学科の数を示す。

※2 工学部地球工学科の入学者は、外国人留学生を対象とした国際コースの入学者10人を除く。

〔外国学校出身者のための選考の実施結果 (外数) 〕

学 部	募集人員	志願者数	第一次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数
法 学 部	10人以内	16		11	4	0	4
経済学部	10人以内	13	7	7	4	0	4

※ 法学部では第一次選考は実施しない。

※ 受験者数は最終教科時における数字である。

平成30年度

			募集人員	受入予定数 (目安)	志願者数	第1段階選抜 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	追加合格者数	入学者数	
総合人間 学 部	前期		115		462	404	396	118	0	0	118	
		文系	62		262	218	216	63	0	0	63	
		理系	53		200	186	180	55	0	0	55	
文学部	前期		210		703	698	681	213	0	0	213	
教育学部	前期		55		199	198	190	56	0	0	56	
		文系	45		158	158	151	45	0	0	45	
		理系	10		41	40	39	11	0	0	11	
法学部	前期		300		820	817	803	310	1	0	309	
経済学部	前期		211		682	675	665	221	1	0	220	
		文系	186		551	550	541	196	0	0	196	
		理系	25		131	125	124	25	1	0	24	
理学部	前期		306		751	745	735	311	4	0	307	
医学部	前期		177		561	549	533	187	0	0	187	
		医学科	104		333	321	320	106	0	0	106	
		人間健康科学科	73		228	228	213	81	0	0	81	
薬学部	前期		74		223	223	212	78	0	0	78	
工学部 ※1	前期		939		2,704	2,702	2,646	939	4	0	935	
		地球工学科		182		353	353	—	176	0	0	176※2
		建築学科		79		303	303	—	80	0	0	80
		物理工学科		230		821	819	—	231	1	0	230
		電気電子工学科		126		370	370	—	127	1	0	126
		情報学科		90		413	413	—	91	0	0	91
		工業化学科		232		444	444	—	234	2	0	232
		農学部	前期		291		756	756	739	300	1	0
		資源生物科学科		94	-	-	—	96	0	0	96	
		応用生命科学科		46	-	-	—	46	1	0	45	
		地域環境工学科		37	-	-	—	40	0	0	40	
		食料・環境経済学科		30	-	-	—	32	0	0	32	
		森林科学科		54	-	-	—	55	0	0	55	
		食品生物科学科		30	-	-	—	31	0	0	31	
計			2,678		7,861	7,767	7,600	2,733	11	0	2,722	

※1 工学部の学科別志願者数および第1段階選抜合格者数は、第1志望学科の数を示す。

※2 工学部地球工学科の入学者は、外国人留学生を対象とした国際コースの入学者7人を除く。

〔外国学校出身者のための選考の実施結果（外数）〕

学 部	募集人員	志願者数	第一次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数
法 学 部	10人以内	12		9	6	0	6
経済学部	10人以内	21	12	10	7	0	7

※ 法学部では第一次選考は実施しない。

※ 受験者数は最終教科時における数字である。

平成29年度

			募集人員	受入予定数 (目安)	志願者数	第1段階選抜 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	追加合格者数	入学者数	
総合人間 学 部	前期		117		470	410	403	121	1	0	120	
		文系	63		255	221	218	65	0	0	65	
		理系	54		215	189	185	56	1	0	55	
文学部	前期		210		685	684	664	212	0	0	212	
教育学部	前期		54		240	193	189	55	0	0	55	
		文系	44		192	154	150	44	0	0	44	
		理系	10		48	39	39	11	0	0	11	
法学部	前期		300		779	779	769	311	0	0	311	
経済学部	前期		211		669	636	616	221	0	0	221	
		文系	183		512	512	494	193	0	0	193	
		理系	28		157	124	122	28	0	0	28	
理学部	前期		306		794	783	775	311	1	0	310	
医学部	前期		180		638	587	569	192	3	0	189	
		医学科	105		331	320	319	111	0	0	111	
		人間健康科学科	75		307	267	250	81	3	0	78	
薬学部	前期		78		221	221	214	84	0	0	84	
		薬科学科	48		115	115	112	53	0	0	53	
		薬学科	30		106	106	102	31	0	0	31	
工学部 ※1	前期		947		2,685	2,683	2,632	946	1	0	945	
		地球工学科		182		317	317	—	176	1	0	175※2
		建築学科		80		357	356	—	81	0	0	81
		物理工学科		235		756	756	—	236	0	0	236
		電気電子工学科		127		386	386	—	128	0	0	128
		情報学科		90		388	387	—	91	0	0	91
		工業化学科		233		481	481	—	234	0	0	234
農学部	前期		284		694	694	674	290	0	0	290	
		資源生物科学科		91	-	-	—	93	0	0	93	
		応用生命科学科		44	-	-	—	44	0	0	44	
		地域環境工学科		34	-	-	—	35	0	0	35	
		食料・環境経済学科		30	-	-	—	32	0	0	32	
		森林科学科		55	-	-	—	55	0	0	55	
		食品生物科学科		30	-	-	—	31	0	0	31	
		計		2,687		7,875	7,670	7,505	2,743	6	0	2,737

※1 工学部の学科別志願者数および第1段階選抜合格者数は、第1志望学科の数を示す。

※2 工学部地球工学科の入学者は、外国人留学生を対象とした国際コースの入学者8人を除く。

〔外国学校出身者のための選考の実施結果（外数）〕

学 部	募集人員	志願者数	第一次選考 合格者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数
法 学 部	10人以内	12	—	9	5	0	5
経済学部	10人以内	13	11	10	7	1	6

※ 法学部では第一次選考は実施しない。

※ 受験者数は最終教科時における数字である。

Ⅲ 修学案内

学生生活に必要な制度、施設等についての概要は、次のとおりです。

1. 高等教育の修学支援新制度

2020年度から、高等教育の修学支援新制度による新たな支援が始まります。京都大学は、修学支援新制度の対象機関に認定されています。

高等教育の修学支援新制度は以下の2つの支援からなります。

- ・ 給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）
- ・ 授業料等の減免（授業料と入学金の免除または減額）

本制度の概要については、以下の文部科学省 Web サイトをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

2. 授業料免除・入学金免除

高等教育の修学支援新制度による給付奨学金対象者については、授業料等の減免（授業料と入学金の免除または減額）が行われます。授業料等の減免額は、世帯の所得金額に基づく区分に応じて定まります。

2020年度の授業料免除・入学金免除等の申請に係る詳細については現在検討中です。

申請手続きについては、詳細が決まり次第、京都大学 Web サイト等にてお知らせしますので、申請を希望される方は必ず確認するようにしてください。

3. 日本学生支援機構（JASSO）奨学金及びその他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生には、日本学生支援機構及び民間奨学団体等による奨学金の給付・貸与制度があります。

(1) 日本学生支援機構（JASSO）奨学金

① 給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）

給付奨学金対象者となるには、学業等に係る基準と家計に係る基準（収入基準・資産基準）に該当する必要があります。

支給金額は、世帯の所得金額に基づく区分に応じて、通学形態（自宅通学・自宅外通学）により定まります。

給付奨学金制度の詳細は以下の日本学生支援機構 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

高校生等で、2020年度に進学を予定している方の2019年度の日本学生支援機構への申込は終了していますが、入学後にも申し込み可能です。また「入学案内」等により申込手続きを案内します。

② 貸与奨学金

奨学金の種類と貸与月額、次のとおりです。（平成31年4月現在）

・ 第一種奨学金（無利子）

自宅通学	20,000円, 30,000円, 45,000円から選択
自宅外通学	自宅通学貸与月額のほか40,000円, 51,000円から選択 (最高月額には家計基準あり)

※2020年度から始まる新しい給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、併

給調整として貸与を受けられる月額の上限額が制限されますので注意してください。

・第二種奨学金（有利子）

20,000円～120,000円（1万円単位で希望する月額を選択）

◇入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

大学の第1学年において、希望により、第一種・第二種奨学金の初回振込み時に、一時金として10万円～50万円を増額して貸与されます。この制度は、一定の収入金額以下の場合、または日本政策金融公庫〔国の教育ローン〕を申し込んで、貸付を受けることができなかった場合に申し込みます。

ア. 申込説明会

日本学生支援機構奨学金を希望する場合は、入学後、申込説明会を開催しますので、必ず出席してください。詳細については、「入学案内」等により通知します。

なお、入学の前年度に採用候補者に内定している場合は、次の「イ. 進学届の提出」を参照してください。

イ. 進学届の提出

入学の前年度に日本学生支援機構奨学生の採用候補者に内定している場合は、あらかじめ日本学生支援機構から交付されている「個人別パスワード」および本学が交付する「学校別パスワード」を使用して、インターネットから直接「進学届」を提出してください。なお、「学校別パスワード」の交付等については、「入学案内」等により通知します。

(2) その他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

日本学生支援機構奨学金のほか、教育推進・学生支援部学生課奨学掛では、地方公共団体、民間団体合わせて約90団体の奨学金を取り扱っています。詳細については、「入学案内」等により通知します。

4. 京都大学基金緊急支援一時金

学資を主として負担する方（学資負担者）が亡くなられたり、学生または学資負担者が災害（風水害、地震または火災）により被災するなど経済的な緊急時に、一時金（25万円）を給付（返済不要）し、修学・生活を支援します。

申請期間は当該事由発生日より3ヶ月以内（ただし、卒業・修了予定者については、卒業・修了予定日が属する月の前月末まで）となりますので、事由発生後速やかに教育推進・学生支援部学生課奨学掛にご相談ください。

5. 小口短期貸付

病気、不慮の事故、送金の延着、その他急な出費の場合に、無利子の貸付を行います。貸付金は1万円～5万円（1万円単位）です。この貸付用の資金は本学関係者の寄附によるものです。

なお貸付には、父母またはこれに代わる方を連帯保証人とする「債務保証書」を提出する必要があります（ただし、1万円の貸付の場合は不要）。希望者は教育推進・学生支援部学生課奨学掛窓口へ申し出てください。

6. 学生保険

学生保険として、学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、正課や学校行事中、課外活動中、これらに伴う通学中等の事故により、学生が被った傷害に対して適用される保険であり、学生生活を送るうえで重要な役割を果たします。また、学研災の付帯保険として、上記活動中（一部除く）に学生が法律上の損害賠償責任を負うことで被る、対人・対物の損害を対象とした学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）があります。

また、日常生活全般での損害賠償責任をカバーする大学生協が扱う学生賠償責任保険（学賠）があります。

なお、本学では入学の際、原則として、日本人学生は学研災・付帯賠償に、留学生は学研災・学賠に全員が加入することとなっています。

詳細については下記 Web サイトに掲載しています。

【京都大学 Web サイト】

(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Insurance>)

【大学生協 Web サイト】

(<http://hoken.univcoop.or.jp/student/index.html>)・・・和文

(<http://kyosai.univcoop.or.jp/english/index.html>)・・・英文

7. 学生寄宿舎

京都大学の学生寄宿舎については、大学 Web サイトをご覧ください。以下の担当部署へお問い合わせください。

※京都大学 Web サイト

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Life>

※教育推進・学生支援部厚生課厚生掛（TEL：075-753-2540）

8. 下宿・アパート等

京都大学生生活協同組合 (<http://www.s-coop.net>, TEL：075-771-0823) で、アパート・マンション等の紹介をしています。

9. 福利厚生施設

本学の福利厚生施設は、各構内（吉田，桂，宇治キャンパス）にそれぞれ食堂や購買部を配置し、学生生活における「食」の面でのサポートや生活環境の向上に資しています。

10. 学生総合支援センター

本学は、学生の修学上、適応上の相談に対応し、必要な支援を行うため、学生総合支援センターを置いています。センターには以下の3つのルームがあります。

(1) カウンセリングルーム

心理学を専門とするスタッフが学生生活上のさまざまな悩み（進路選択，学業，就職，人生観，対人関係，家庭，性，性格，心理障害，ハラスメント，その他）に関して，個人の秘密を厳守して相談に応じ，専門的助言と継続的援助を行っています。

(2) キャリアサポートルーム

ガイダンスやセミナー，学内合同企業説明会等の各種イベントと個別相談を通して，学生の進路決定や就職活動を支援します。ルーム内では求人情報，卒業生名簿，先輩の就職活動記録等の資料の閲覧が可能です。

(3) 障害学生支援ルーム

障害があるなどの理由により，修学上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ，所属学部や関連部局と連携しながら支援を実施します。支援の内容や方法は，個々の状況やニーズと授業内容等の環境的要因をふまえ，専門的な判断により検討します。

11. 健康管理部門（保健診療所）

学生の修学や生活を健康面から支援するため，種々の保健・医療サービスを提供しています。全学生が受診する定期健康診断，化学薬品や放射線を取り扱う場合の学生特別健康診断，就職や免許取得

時に必要な各種の健康診断を実施するとともに、生活習慣病予防のための保健指導や感染症予防のための予防接種、健康維持増進のための講座・イベントなどを提供しています。また、心身の不調や不安をかかえる学生には診療や健康相談を行っています。保健診療所（吉田・桂・宇治）には医師や看護師が待機しており、気軽にかかれる保健・医療施設です。

1.2. 課外活動

本学における学生の課外活動は、相互研鑽のため学生自らが主体的に行うもので、先輩や部員間の深い絆を育み、自己の生き方を求めながら、自己の存在を確かめる場として人間形成の上で意義あるものです。学部在学生の多くが何らかの形で参加しています。全学公認学生団体は、文化系と体育系に区分され、本学創立まもなく誕生したものから最近結成したものまで、約200団体があります。文化系団体は音楽・ダンス系、芸術・古典系、宗教系、人文・社会・自然系、その他に、体育系団体は体育会所属とそれ以外に分類されます。文化系各団体はそれぞれの設置目的に添って日常活動を行い、その成果を学内外に発表します。体育会所属運動部は、全国7大学総合体育大会や近畿地区国立大学体育大会のほか所属リーグ戦等に、体育会所属以外の体育系団体は所属リーグ戦等に参加しています。こうした日々の課外活動に参加することは、学生生活に張りや潤いをもたらすことになります。

また、毎年11月下旬に開催の11月祭（大学祭）は日常の活動を学内外に発表する場として、文化系・体育系を問わずさまざまなグループが参加する本学最大の学生イベントです。期間中は講演会、展示会、音楽会、演劇公演、模擬店などが開かれ、大学生活における楽しい思い出の一つとなる行事です。

1.3. 図書館

学内には附属図書館をはじめ、各学部などに設置された約50の図書館・室があり、図書館機構として、連携しながらサービスを行っています。

各図書館・室は、学問分野に応じた図書や雑誌を収集しており、国宝や重要文化財を含む全学の蔵書冊数は、約712万冊に上ります。また、図書館機構は、多くの電子ジャーナルや電子ブック、様々な分野のデータベースを学内ネットワーク上で提供しています。

各図書館・室には、快適な学習空間を備えており、学習・研究のシーンに合わせて利用することができます。例えば附属図書館には、多数の閲覧席のほか、グループワークが可能なラーニング・コモンズや共同研究室、静かに学習できるサイレント エリア、24時間利用できる学習室24、パソコンが利用できるオープンスペースラボラトリなどがあります。

また、各図書館・室では、図書館員が資料収集や調べものをサポートしたり、資料の探し方などの講習会を行ったりしているほか、附属図書館には、大学院生スタッフが相談に応える学習サポートデスクもあります。

さらに、図書館機構では、インターネットを通じて、蔵書検索システムのほか、論文などの京都大学の教育・研究成果や所蔵する貴重資料の画像など広く公開しています。

各図書館・室の利用案内や図書館機構が提供する各種サービスへは、図書館機構 Web サイト（URL：<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>）からアクセスすることができます。

1.4. 情報環境

京都大学には、勉学から学生生活まで様々な活動を支援する情報環境が用意されており、学生アカウント（ECS-ID）やICカード化された学生証により、本人確認を経て利用することができます。

学内には、情報環境の基盤となる学術情報ネットワークシステム（KUINS：クインズ）があり、学内通信や学外へのインターネット接続に利用されています。KUINSの基幹部分には、ファイアウォールや不正侵入検知を設置し、情報環境を安全かつ安心して利用できるようにしています。

京都大学では、学生所有のノートPCを持参し、授業や自学自習で利用するBYOD（Bring Your Own Device）を推進しており、自分のノートPCやスマートフォン等は、学内Wi-Fi接続サービス（KUINS Air）を使って接続できるようになっています。

また、学内の様々な組織が提供するITシステム・サービスとして、全学生共通ポータルや学生用

メール（KUMOI）、教務情報システム（KULASIS）、学習支援システム（PandA）、eラーニング研修システム等があります。

さらに、授業や自学自習で使用する PC 端末サービスとして、固定型 PC 端末サービスや仮想型 PC 端末サービス（VDI）が利用でき、サテライト教室やオープンスペースラボラトリ（OSL）を設置しています。これらの PC 端末には、オフィス系アプリケーション、プログラミング処理、統計処理、数式処理等、必要な様々なソフトウェアを導入しており、大学での授業と自主学習の総合的な情報環境を提供するとともに、電子メールやウェブを利用したコミュニケーションに利用できるようにしています。

15. 教育職員免許状について

本学で取得できる教育職員免許状は、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状及び特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者）です。

学部で認定を受けている課程の教科及び教科の指導法に関する科目と併せて、教育の基礎的理解に関する科目等を履修し、免許法所定の単位を修得した者は、中学校、高等学校教諭一種免許状申請の所要資格を得ることができます。

本学の各学部にて所要資格を得ることができる教育職員免許状の教科の種類は、国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科、英語、農業、情報です。※

なお、中学校教諭一種免許状を取得するには、「介護等体験」（特別支援学校で2日間、社会福祉施設等で5日間、計7日間）が義務付けられています。

また、中学校、高等学校教諭一種免許状を取得し、免許法に規定する特別支援教育に関する科目を修得すれば、特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者）の所要資格を得ることができます。

※平成31年度入学者より所要資格を得ることができる教育職員免許状の教科の種類が変更となっていますので、京都大学 Web サイトで確認してください。

(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/teaching>)

16. CAP制について

本学では令和2年度入学者より一部の学部で、1学期で履修できる授業科目に単位数で上限を設定する制度「CAP制」を導入します。詳しくは各学部窓口にお問い合わせください。

17. 卒業後の進路

平成30年度卒業者の進路動向は下表のとおりです。卒業者の約56%が大学院に進学し、約34%が就職しています。

平成30年度 卒業者の進路状況

(令和元年6月1日現在)

学部名	進路		進学者数		就職者数		臨床研修医		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合人間学部	94	47	35	12	42	32			13	2
文学部	115	98	27	17	77	77			11	4
教育学部	39	30	8	9	31	19				2
法学部	238	91	54	26	152	58			24	4
経済学部	208	45	18	5	176	38			14	2
理学部	275	35	220	25	44	6			10	2
医学部 医学科	95	15	1	1			87	14	7	
医学部 人間健康科学科	33	110	17	36	12	60			2	5
薬学部 薬科学科	42	9	41	9					1	
薬学部 薬学科	20	9	5	1	14	8			1	
工学部	884	99	745	76	92	14			16	4
農学部	214	97	179	71	30	23			5	3
男計 女計	2,257	685	1,350	288	670	335	87	14	104	28
合計	2,942		1,638		1,005		101		132	
卒業者数に占める割合			55.7%		34.2%		3.4%		4.5%	

*進路状況が未回答の者がいるため、進路種別の合計が卒業者数に一致しない。

平成30年度 卒業者の産業別就職状況

(令和元年6月1日現在)

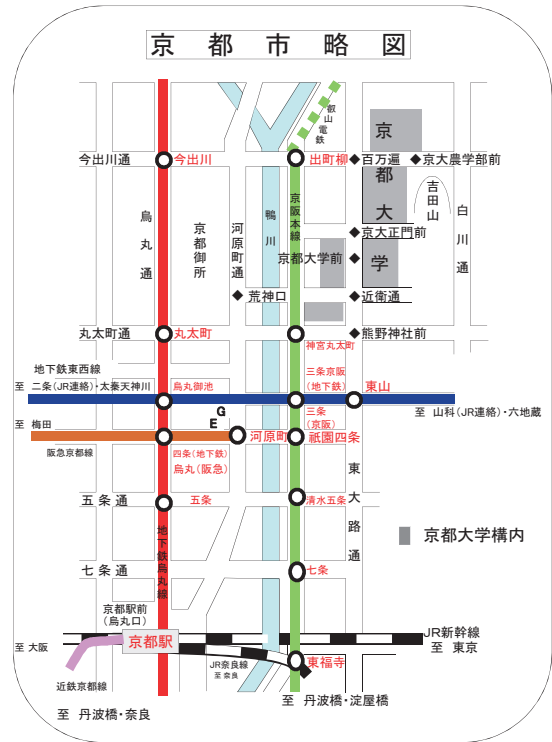
産業	学部	総合人間		文		教育		法		経済		理		医		薬		工		農		男計	女計	総計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
農業・林業																									
漁業																									
鉱業・採石業・砂利採取業		1		1				1														3		3	
建設業		1		1	2	2							1					7	1	1	3	13	6	19	
製 造 業	食品・飲料・たばこ・飼料					1	2	2					1			1	1	1	1			7	3	10	
	繊維工業					1	1															2		2	
	印刷・同関連業																								
	化学工業・石油・石炭製品	2	1	1	2	1	2	1	1	3	1					4	3	2		1		13	10	23	
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品			2	3			3	2		1								1				9	3	12
	はん用・生産用・業務用機械器具	1	1	1	2	1	2	4	1	3					1				5				15	7	22
	電子部品・デバイス・電子回路							1	1										1	1			2	2	4
	電気・情報通信機械器具	1	1	1	4	1	2	4	1	9	3								2	1	2		20	12	32
輸送用機械器具			1	3	1		3	3	1			1						3	1			11	6	17	
その他			1	2			2											2		1	1	6	3	9	
電気・ガス・熱供給・水道業		2	1	2	2		2	2	3	4	2			1				4				14	11	25	
情報通信業		9	11	13	12	11	4	21	6	18	5	16	2	3	2			22	1	9	5	122	48	170	
運輸業・郵便業			3	3	1	1	13		7			1						4	1	3	2	31	8	39	
卸売業・ 小売業	卸売業		4	2	3			5	2	14	1			1		1	1	4	3	1	1	28	15	43	
	小売業	1		1	5		1	2		1	1	1		1	2	1	1	1		1	2	10	11	21	
金融業・ 保険業	金融業	5	1	6	5			24	4	43	5	3		1				3		1	1	86	16	102	
	保険業	4	2	2				11	6	8	3	3									1	28	12	40	
不動産業・ 物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業	2	2	3	2			7		11			1					4				27	5	32	
	物品賃貸業																				1	1		1	
学術研究・ 専門・技術 サービス業	学術・開発研究機関			2												1						1	2	3	
	法務	1	1				2	3	10	6											1	14	10	24	
	その他の専門・技術サービス業	7	4	13	7	5	1	19	11	22	7	5			1		19	4	3	2		94	36	130	
宿泊業・飲食サービス業								1		1												2		2	
生活関連サービス業・娯楽業		1	1																			2		2	
教育・学習 支援業	学校教育			6	3	3	1	2	1	1	5							1		1		17	7	24	
	その他の教育・学習支援業	2		1	4	1				2		6										12	4	16	
医療・福祉	医療業・保健衛生							1	1				5	49	3	1						9	51	60	
	社会保険・社会福祉 介護事業							1				1										2		2	
複合サービス事業			1																			1		1	
サービス業	宗教																								
	その他のサービス業			6	3			5	1	5	1			2				3		1	1	20	8	28	
公務	国家公務	2	1	3	4		2	10	12	3	1					1	1	2		2	2	23	23	46	
	地方公務		2	6	5	3		9	3	2		2		4				1		1	1	24	15	39	
上記以外												1			1							1	1	2	
総 合 計		74		154		50		210		214		50		72		22		106		53		670	335	1,005	
		42	32	77	77	31	19	152	58	176	38	44	6	12	60	14	8	92	14	30	23				

京都大学構内図

(吉田キャンパス)

◎ 各学部教務掛等所在地

- ① 農学部
 - ② 理学部
 - ③ 文学部
 - ④ 教育学部
 - ⑤ 法学部
 - ⑥ 経済学部
 - ⑦ 工学部
 - ⑧ 総合人間学部
 - ⑨ 医学部医学科、
医学部人間健康科学科
 - ⑩ 薬学部
- ◆ 教育推進・学生支援部入試企画課



乗換(電車・バス・徒歩)等案内 熊野神社前

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス系統	行先	下車バス停
京阪本線 出町柳駅	文・教育・法・経済・工は当駅下車, 東へ徒歩約15分		総合人間・理・農は徒歩約20分	
京阪本線 神宮丸太町駅	医・薬は当駅下車, 北東へ徒歩約10分			
地下鉄東西線 三条京阪駅	地下鉄東西線「三条京阪駅」にて京阪本線「三条駅」に乗換可(地下連絡通路を通じて徒歩約5分) ※京阪本線出町柳駅(三条駅から約3分, 終点)または神宮丸太町駅下車後徒歩(上記参照)			
阪急京都線 河原町駅	阪急京都線「河原町駅」にて京阪本線「祇園四条駅」に乗換可(東改札口→出口1より四条大橋を渡り徒歩約5分) ※京阪本線出町柳駅(祇園四条駅から約5分, 終点)または神宮丸太町駅下車後徒歩(上記参照)			
	四條河原町E	201系統	「祇園・百万遍」ゆき	「京大正門前」又は「百万遍」 医・薬は「近衛通」
		31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」ゆき	
	四條河原町G	3系統	「出町柳駅 百万遍 北白川仕伏町(上終町・京都造形芸術大)」ゆき	「百万遍」 薬は「荒神口」
		17系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」ゆき	「百万遍」 理・農は「京大農学部前」 薬は「荒神口」
京都駅 (JR・近鉄)	JR奈良線「東福寺駅」(JR京都駅より約3分, 全列車停車)にて, 京阪本線への乗換可 ※京阪本線出町柳駅(東福寺から約12分, 終点)または神宮丸太町駅下車後徒歩(上記参照)			
	京都駅前 (烏丸口)D2	206系統	「三十三間堂 清水寺 祇園・北大路バスターミナル」ゆき	「京大正門前」又は「百万遍」 医・薬は「近衛通」
	京都駅前 (烏丸口)A2	17系統	「四條河原町・銀閣寺」ゆき	「百万遍」 理・農は「京大農学部前」 薬は「荒神口」
	京都駅前 (烏丸口)D3	京大快速 号系統	「京大病院・京大正門」ゆき	「京大正門前」又は「百万遍」
八条口 E1	—	循環路線バス「hoop」	「京都大学前」	

※ 京都駅前および四條河原町のバス停にはのりば表記を行っています。
 ※ 停車駅, バス停等は, 変更となる可能性がありますので, 詳しくは, 各バス・鉄道会社等にお問い合わせください。

京都大学 Web サイト <http://www.kyoto-u.ac.jp/>

【 問 い 合 わ せ 先 】

各学部教務担当

学 部	担当掛	電話番号	住 所
総合人間学部	教 務 掛	075-753-6506	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文 学 部	第一教務掛	075-753-2709	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教 育 学 部	教 務 掛	075-753-3010	
法 学 部	教 務 掛	075-753-3107	
経 済 学 部	教 務 掛	075-753-3406	
工 学 部	教 務 掛	075-753-5039	
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
医学部人間健康科学科	人間健康教務掛	075-753-9313	
薬 学 部	教 務 掛	075-753-4514	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
理 学 部	学部教務掛	075-753-3637	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
農 学 部	学部教務掛	075-753-6012	

入学試験関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部入試企画課入試第一掛	075-753-2521	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

入学料・授業料免除，奨学金関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部学生課奨学掛	075-753-2536	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

学生寄宿舍関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部厚生課厚生掛	075-753-2540	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

